



# 医療法人 扶恵会 釧路中央病院 採用薬

作成：薬剤科・医薬品情報室

青字の医薬品名は先発品の名称です。

## 用法・用量欄の注釈

[用][適]…添付文書に記載されている用法・用量です。当院における適応を中心に記載しています。

[禁]…投与が禁忌となる患者状態、併用禁忌薬を示しています。

[副]…重篤な副作用、頻度の高い副作用を中心に注意すべきもの、代表的なものについて記載しています。

[特]…薬剤の特長(薬剤系統・利点・使い分け)をコメントしています。

[注]…使用上の注意点で特に覚えておきたい事項について記載しています。

[相]…併用薬における薬物相互作用について記載しています。

【解説】 CYP→薬物代謝酵素(薬物を分解する酵素)

同じCYP種が関わる薬剤同士を併用した場合、互いの薬効が強められたりする可能性がある事を意味します

**0名** **1名** …特定の患者のみに使っている使用頻度の少ない薬剤(当院における使用患者数)です。

**ハイリスク群** …薬剤管理指導上(380点算定)のハイリスク薬群に該当する薬剤です。

## 内 服

1-1・催眠鎮静剤	1P	31・ 副腎ホルモン剤	5P
1-2・ 抗不安剤	1P	33・ その他の泌尿生殖器および肛門用薬	5P
2・ 抗てんかん剤	1P	34・ ビタミンA及びD剤(骨粗鬆症治療薬)	6P
3・ 解熱鎮痛消炎剤	1P	35・ ビタミンB剤(ビタミンB1剤を除く)	6P
4・ 抗パーキンソン剤	1P	36・ カルシウム剤	6P
5-1・ 精神神経用剤(抗精神病薬)	2P	37・ 無機質製剤	6P
5-2・ 精神神経用剤(抗うつ薬)	2P	38・ 止血剤	6P
5-3・ 精神神経用剤(抗不安薬・その他)	2P	39・ 血液凝固阻止剤	6P
6・ 総合感冒剤	2P	40・ その他の血液・体液用薬	6P
7・ その他の中枢神経系用薬	2P	41・ 解毒剤	6P
8・ 局所麻酔剤	2P	42・ 痛風治療剤	6P
9・ 骨格筋弛緩剤	2P	43・ 糖尿病用剤	7P
10・ 鎮痙剤	2P	44・ 他に分類されない代謝性医薬品	7P
11・ 鎮暈剤	2P	45・ 抗ヒスタミン剤	7P
12・ 強心剤	3P	46・ その他のアレルギー用薬	7P
13・ 不整脈用剤	3P	47・ 主としてグラム陽性・陰性菌に作用する抗生剤(ペニシリン、セフェム)	7P
14・ 利尿剤	3P	48・ 主としてグラム陽性菌、マイコプラズマに作用する抗生剤 (マクロライド)	7P
15・ 血圧降下剤	3P	49・ 合成抗菌剤 (ニューキノロン系)	7P
16・ 脂質異常症用剤	4P	50・ 抗ウイルス剤	7P
17-1・ 血管拡張剤(降圧剤)	3P	51-1・ その他の化学療法剤(抗生剤)	7P
17-2・ 血管拡張剤(狭心症・その他)	4P	51-2・ その他の化学療法剤(抗真菌薬・水虫薬)	7P
18・ その他の循環器用薬	4P	52・ X線造影剤	8P
19・ 鎮咳剤	4P	53・ その他の診断用薬(体外診断用医薬品を除く)	8P
20・ 去痰剤	4P	54・ 他に分類されない治療を主目的としない医薬品	8P
22・ 気管支拡張剤	4P	55・ あへんアルカイド系麻薬	8P
23・ 止瀉剤、整腸剤	4P	56・ 漢方製剤	8P
24・ 消化性潰瘍用剤	5P	57・ 経腸栄養剤	8P
25・ 健胃消化剤	5P		
26・ 制酸剤	5P		
27・ 下痢、浣腸剤	5P		
28・ 利胆剤	5P		
29・ その他の消化器用剤	5P		
30・ 甲状腺、副甲状腺ホルモン剤	5P		

## 注 射

1・催眠鎮静剤、抗不安剤	9P
2・抗てんかん剤	9P
3・解熱鎮痛消炎剤	9P
4・精神神経用剤	9P
5・局所麻酔剤	9P
6・骨格筋弛緩剤	9P
7・鎮痙剤(抗コリン薬)	9P
8-1・血管拡張剤	10P
8-2・強心剤(ジギタリス系)	10P
8-3・強心剤(昇圧剤)	10P
9・不整脈用剤	9P
10・利尿剤	10P
11・その他の循環器官用薬血管拡張剤	10P
12・呼吸促進剤(薬剤拮抗薬)	10P
13・鎮咳剤	10P
14・去痰剤	10P
15・気管支拡張剤	10P
16・消化性潰瘍用剤	10P
17・その他の消化器官用薬	10P
18・脳下垂体ホルモン剤	11P
19-1・副腎ホルモン剤(昇圧・交換神経薬)	10P
19-2・副腎ホルモン剤(ステロイド)	11P
20-1・インスリン製剤	11P
20-2・その他のホルモン剤(抗ホルモン剤を含む)	11P
21・ビタミン剤	11P
22・混合ビタミン剤	11P
23・カルシウム剤	11P
24・無機質製剤	11P
25・糖類剤	11P
26・たんぱく質アミノ酸製剤(PPN・TPN)	12P
27・血液代用剤(輸液・電解質)	12P
28・止血剤	12P
29・血液凝固阻止剤	12P
30・肝臓疾患用剤	13P
31・解毒剤	13P
32・酵素製剤	13P
33・注射 他に分類されない代謝性医薬品	13P
34・抗ヒスタミン剤	13P
35・主としてグラム陽性菌に作用する抗生剤(バンコマイシン、リンコマイシン)	13P
36・主としてグラム陰性菌に作用する抗生剤(アミノグリコシド系)	13P
37・主としてグラム陽性・陰性菌に作用する抗生剤( $\beta$ ラクタム、カルバペネム、ホス)	13P
38・主としてグラム陽性・陰性菌・リケッチア・クラミジアに作用(ミノマイシン系)	14P
39・合成抗菌剤(ニューキノロン系)	14P
40・主としてカビに作用するもの	14P
41・抗ウイルス剤	14P
42・ワクチン類	14P
43・その他の生物学的製剤	14P
44・溶解剤	14P
45・X線造影剤	14P
46・機能検査用試薬	14P
47-1・あへんアルカロイド系麻薬	14P
47-2・あへんアルカロイド系非麻薬	14P
48・注射 その他の滋養強壮薬(脂肪乳剤)	14P

## 外 用

1・解熱鎮痛消炎剤	15P
2・局所麻酔剤	15P
3・眼科用剤	15P
4・耳鼻科用剤	15P
5・血管拡張剤	15P
6・去痰剤	15P
7・気管支拡張剤	15P
8・含嗽剤	16P
9・その他の呼吸器官用薬	16P
10・下痢、浣腸剤	16P
11・その他の消化器官用薬	16P
12・生殖器官用剤(性病予防剤を含む)	16P
13・痔疾用剤	16P
14・外皮用殺菌消毒剤	16P
15・化膿性疾患用剤	16P
16・鎮痛、鎮痒、収斂、消炎剤	17P
17・寄生性皮膚疾患用剤	16P
18・皮膚軟化剤(腐蝕剤を含む)	17P
19・その他の外皮用薬	17P
20・止血剤	17P
21・抗ウイルス剤	17P
22・軟膏基剤	17P
23・あへんアルカロイド系麻薬	17P

1-1・催眠鎮静剤		
<共通>抗コリン作用があるため、 <b>[禁]</b> 急性狭隅角緑内障、重症筋無力症 <b>[副]</b> 便秘・尿閉・口渇		
トリアゾラム錠 0.125mg (ハルシオン錠) 5.6	超短時間型睡眠薬 [適]不眠症(入眠障害)	[用]1回0.125~0.25mg(高齢者) [相]CYP3A4で代謝 <b>[禁]</b> 呼吸機能が高度低下している患者(呼吸抑制の可能性) <b>[副]</b> めまい・ふらつき・健忘
プロチゾラムOD錠 0.25mg (レンドルミン錠) 9.9	短時間型睡眠薬 [適]不眠症(入眠障害)	[用]1回0.25mg [相]CYP3A4で代謝 <b>[禁]</b> トリアゾラムと同じ
フルニトラゼパム錠 1mg (サイレース錠、ロヒプノール錠) 5.6	中時間型睡眠薬 [適]不眠症(熟眠障害・中途覚醒)	[用]1回0.5~1mg(高齢者) <b>[禁]</b> トリアゾラムと同じ
1-2・抗不安剤 ⇒5-3・精神神経用剤(抗不安薬)も参照		
<共通>抗コリン作用があるため、 <b>[禁]</b> 急性狭隅角緑内障、重症筋無力症 <b>[副]</b> 便秘・尿閉・口渇		
セルシン錠 2mg <b>0名</b> 5.9	長時間型抗不安薬 [適]抗不安、筋緊張緩和、抗痙攣	[用]不安:1回2~5mgを1日2~4回、筋緊張:1回2~10mgを1日3~4回。 <b>[特]</b> 長時間・中力価型抗不安薬
2・抗てんかん剤 <b>ハイリスク群</b>		
アレピアチン錠 100mg (一般名:フェニトイン) 12.7	抗てんかん薬 [適]痙攣(大発作)	[用]1回60~100mgを1日3回 <b>[注]</b> 血中濃度測定行う [相]CYP3A,2B誘導、2Cで代謝 <b>[副]</b> 中毒(眼振、構音障害、運動失調)、造血器障害、肝障害 <b>[特]</b> いわゆる大発作に対して用いられる
ゾニサミド錠 100mg (エクセgran) 16.5	抗てんかん薬 [適]痙攣(大発作)	[用]1回100mgを1日1~3回(最大600mg) <b>[注]</b> 血中濃度測定 [相]CYP3Aで代謝 <b>[副]</b> 発汗減少、横紋筋融解、尿路結石、造血器障害 <b>[特]</b> 大発作、部分・全般発作に有効、少量でパーキンソン病にも用いられる。
カルバマゼピン錠 100mg (テグレート) 5.6	抗てんかん薬 [適]痙攣(大発作)、躁・興奮状態	[用]1回100~200mgを1日1~2回、維持量1日600mgに(最大1200mg) <b>[注]</b> 血中濃度測定 <b>[副]</b> 肝障害、皮膚症状、骨髄抑制、SIADH(低Na) [相]CYP誘導あり <b>[特]</b> 部分発作の第1選択薬。躁や統合失調症の興奮状態、三叉神経痛にも効果。
バルプロ酸Na細粒20% (デパケン) 11.1	抗てんかん薬 [適]痙攣(大発作・小発作)、躁病 (分包品1包1g=200mg、バラも有)	[用]1回200~400mgを1日2~3回。 <b>[注]</b> 血中濃度測定。 <b>[禁]</b> メロペネム(デパケンの作用が減弱する)、重篤な肝機能障害 <b>[副]</b> 肝障害、眠気 <b>[特]</b> 各種のてんかんに広く効果あり。躁病の興奮状態、片頭痛の発作抑制にも使用。
リボトリール錠 0.5mg (一般名:クロナゼパム) 9.1	抗てんかん薬 [適]痙攣(小発作、ミオクローヌ)	[用]初回:1回0.5mgを1日1~3回、維持量:1日2mgを1日1~3回 <b>[注]</b> 血中濃度測定 <b>[禁]</b> 急性狭隅角緑内障、重症筋無力症 <b>[副]</b> 眠気・ふらつき、肝障害
ガバペン錠 200mg (一般名:ガバペンチン) <b>0名</b> 40.4	抗てんかん薬 [適]痙攣(他剤無効時の部分発作)	[用]初回:1日600mg、2日目:1日1200mgを1日3回、維持量:1日1200~1800mg <b>[注]</b> 血中濃度測定 <b>[副]</b> 長期投与で体重増、肝障害、傾睡、めまい・ふらつき、頭痛 <b>[特]</b> 帯状疱疹後疼痛や鎮痛補助薬(癌性疼痛の神経因性疼痛)に用いられる。
3・解熱鎮痛消炎剤		
カロナール錠 300mg 7.9	解熱鎮痛薬 アセトアミノフェン [適]各種疼痛、発熱	[用]①各種疼痛:1回300~500mgを1日3回、②頓用:1回300~500mgを2回まで(1日最高1500mg) <b>[禁]</b> 重篤な消化器潰瘍、血液異常、肝・腎障害 <b>[副]</b> 肝障害 <b>[特]</b> 鎮痛作用は弱い安全性高い、腎機能に対する影響少ない。高用量で癌性疼痛にも使用
ロキソプロフェン錠 60mg (ロキソニン錠) 7.8	解熱鎮痛薬 NSAIDs [適]各種疼痛、発熱	[用]①関節リウマチ等:1回60mgを1日3回、②疼痛:1回60mgを頓用(1日2回180mgまで) <b>[禁]</b> 消化性潰瘍、重篤な血液異常・肝・腎障害 <b>[副]</b> 消化管出血、肝・腎・造血器障害 [相]ワルファリン、SU剤、ニューキノロン系、チアジド利尿剤等と併用注意
4・抗パーキンソン剤		
<共通>ドパミン遮断作用のある薬は、 <b>[副]</b> 幻覚、錯乱、せん妄等が現れることがある→症状見ながら徐々に増量。中止時の悪性症候群にも注意		
マドパー配合錠 (ネオドパゾール錠) <b>1名</b> 27.5	ドパミン類縁薬 [適]パーキンソン病	[用]初回1回1錠を、維持量は1日1~2錠を1日1~3回 <b>[禁]</b> 閉塞隅角緑内障 <b>[副]</b> 悪性症候群、幻覚、胃腸症状、on-off,waring off現象 <b>[特]</b> パーキンソン病で脳内に減少したドパミンを補充する。ドパミン分解阻害酵素剤との配合剤
シンメレル錠 50mg <b>0名</b> 15.2	ドパミン放出促進薬 [適]パーキンソン病、脳梗塞後意欲低下	[用]パーキンソン:1回100mgを1日1~3回、脳梗塞後の意欲低下:1回50mgを1日2~3回 <b>[特]</b> ジスキネジアに効果(嚥下機能改善の報告もあり)、A型インフルエンザにも効果 <b>[注]</b> 腎機能低下例では用量調節
トリヘキシジン錠 2mg (アーテン錠) <b>0名</b> 8.6	中枢性抗コリン薬 [適]パーキンソン病	[用]1日目1mg、2日目2mg、以後2mg/日ずつ増量、1日量6~10mgを維持量。1日3~4回 <b>[副]</b> 緑内障、重症筋無力症、抗コリン作用(口渇・便秘・排尿障害) <b>[特]</b> 軽度の症状、抗精神病薬の副作用対策に用いられることが多い
ドロキシドパカプセル 100mg (ドブスカプセル) <b>0名</b> 40	ノルアドレナリン神経作用薬 [適]パーキンソン病(すくみ足)	[用]初回1日100mg、維持量1回200mgを1日3回(最高900mg) <b>[禁]</b> 閉塞隅角緑内障、心室性頻拍 <b>[特]</b> すくみ足、起立性低血圧(昇圧効果がある)に用いられる

5-1・精神神経用剤(抗精神病薬)			ハイリスク群
リスパドリン錠 1mg (リスパダール錠)	第2世代抗精神病薬 [適]統合失調症	9.9	[用]1日1mgを1日2回から開始→1回1~3mgを1日2回(最大12mg) [注]腎排泄 [禁]ボスミン(逆に血圧が低下する) [副]悪性症候群、高血糖、体重増加、パーキンソン [特]第2世代に比べ副作用が少なく、陽性症状にも効果を示す [相]CYP2D6,3A4で代謝
クエチアピン錠 25mg (セロケエル錠)	第2世代抗精神病薬 [適]統合失調症	9.9	[用]1回25mg1日2~3回から開始→1日150~600mg(最大750mg) [相]CYP3A4で代謝 [禁]糖尿病、ボスミン [副]悪性症候群、錐体外路、高・低血糖、体重増加、肝障害、塞 [特]陰性症状への効果に優れ、抗うつ作用のエビデンスもあり。催眠効果も期待できる。
ハロペリドール錠 0.75mg (セレネース錠)	第1世代抗精神病薬 [適]統合失調症	5.9	[用]1日0.75~2.25mgから開始→1日3~6mg [注]血中濃度測定 [相]CYP2D6,3A4で代謝 [禁]重症心不全、パーキンソン病与中、ボスミン(逆に血圧低下する)
コントミン錠 25mg	第1世代抗精神病薬 [適]統合失調症	9.2	[用]1日30~100mgを分服 [禁]ボスミン(逆に血圧低下する) [副]悪性症候群、心室頻拍、造血器障害、抗コリン作用、体重増
ノバミン錠 5mg	第1世代抗精神病薬 [適]嘔気、統合失調症	9.6	[用]1日5~20mg(精神科15~45mg) [禁]ボスミン(逆に血圧低下する) [副]悪性症候群、造血器障害 [特]麻薬投与時の悪心・嘔吐の予防によく用いられる(中枢性抗ドパミン作用)
5-2・精神神経用剤(抗うつ薬)			ハイリスク群
ルボックス錠 25mg (1名)	SSRI抗うつ薬 [適]うつ病	31.5	[用]1回25mg→75mgまで増量、1日2回 [副]せん妄、幻覚、セロトン症候群、悪性症候群、造血器障害、肝障害、嘔気、口渇 [特]SSRIは安全性と有効性のバランスが良く第1選択とされている。
レメロン錠 15mg (0名)	NaSSA抗うつ薬 [適]うつ病	159.8	[用]1日1回就寝前15mg→15~30mg(最大45mg) [副]セロトン症候群、造血器障害、肝障害、食欲亢進、体重増 [相]CYP1A2,2D6,3A4代謝 [特]ナルアドレナリン・セロトン選択的取り込み作用。効果発現早く持続的。眠気有り。
5-3・精神神経用剤(抗不安薬・その他)			ハイリスク群 ⇒1-2・抗不安剤も参照
エチゾラム錠 0.5mg (デパス錠0.5mg)	短時間型抗不安薬 [適]神経症、不眠症、筋緊張	6.3	[用]神経症・心身症1回0.5mgを1日3回、不眠症:1回1.5mgまで(高齢者) [禁]急性狭隅角緑内障、重症筋無力症 [相]CYP2C9,3A4 [特]短時間・高力価型抗不安薬
リーゼ錠 5mg (0名)	短時間型抗不安薬 [適]神経症、心身症	6.3	[用]心身症:1回5~10mgを1日3回 [禁]エチゾラムと同じ [特]短時間・低力価型抗不安薬
アタラックス-Pカプセル 25mg	抗アレルギー性精神緩和剤 [適]不安、緊張、蕁麻疹、掻痒	5.8	[用]皮膚科:1回25mgを1日2~3回、精神科:1回25mgを1日3~4回 [副]眠気 [相]CYP3Aで代謝
6・総合感冒剤			
PL配合顆粒1g	総合感冒薬 [適]解熱、鎮咳、鼻水	6.4	[用]1回1gを1日4回 [禁]消化性潰瘍、アスピリン喘息既往、緑内障、前立腺肥大 [副]造血器障害、肝・腎障害 [相]ワルファリン、糖尿病薬の作用状況、抗コリン作用注意
7・その他の中枢神経系薬			
グラマリール錠 25mg	抗精神病薬 [適]精神興奮、徘徊、せん妄	19.5	[用]1回25~50mgを1日3回 [禁]下垂体腫瘍 [副]悪性症候群、QT延長、パーキンソン病、体重増、肝障害 [特]脳梗塞後遺症に伴う攻撃的行動・精神興奮・不穏等に適応。高齢者にもよく用いられる。
ドネペジル塩酸塩OD錠5mg (アリセプトD錠)	アルツハイマー型認知症薬 [適]アルツハイマー型認知症	73.9	[用]開始1日1回3mg→1~2週後に5mgへ(最大10mg) [副]消化器症状、錐体外路症状、悪性症候群、横紋筋融解 [相]コリン作用重複、CYP3A4代謝
8・局所麻酔剤			
キシロカインビスカス2%(20mg/1mL) 1mL=5.6	局所麻酔薬 [適]表面麻酔		[用]表面麻酔:1回100~300mg(5~15mL)を1日1~3回
9・骨格筋弛緩剤			
ダントリウムカプセル 25mg (1名)	末梢性筋弛緩薬 [適]痙性麻痺、悪性症候群	23.1	[用]1日25mg→最高1回50mgを1日3回 [禁]著しい心肺機能低下、筋無力、肝障害
10・鎮痙剤			
ブチススコポラミン臭化物錠10mg (ブスコパン錠)	鎮痙薬 抗コリン作用 [適]胃腸痙攣、子宮痛	5.4	[用]1回10~20mgを1日3~5回 [副]心拍数増加、排尿障害、眼圧上昇、口渇、便秘 [禁]出血性大腸炎、緑内障、前立腺肥大、重篤心疾患、麻痺性イレウス
リオレサル錠 5mg (1名)	中枢性筋弛緩薬 [適]痙性麻痺	15.6	[用]初回1日5~15mgを1日1~3回→以後増量し標準量1日30mg [相]降圧剤、中枢抑制剤の作用が増強 [特]同系統の他剤より効果・副作用は強い
11・鎮量剤			
トラベルミン配合錠	めまい・抗ヒスタミン薬 [適]回転性めまい、乗り物酔い	5.8	[用]1回1錠を1日3~4回 [禁]緑内障、下部尿路閉塞性疾患 [副]眠気、倦怠感、抗コリン作用(心拍数増、口渇等)

12・強心剤			ハイリスク群
ジゴキシン錠 0.125mg (ハーフジゴキシン錠)	ジゴキシン製剤	[用]急速飽和療法:初回0.5~1mg、0.5mgずつ6~8時間毎 維持量:1日0.25~0.5mg [注]血中濃度測定、腎排泄型薬、低Kで作用増強 [相]CYP3A代謝→多剤併用で血中濃度変動 [禁]房室・洞房ブロック、閉塞性心筋疾患 [副]ジギタリス中毒(催不整脈、消化器症状、頭痛、眠気)	[適]うつ血性心不全、心房細動 上室性頻拍
ピモベンダン錠1.25mg (アカルディカプセル) 0名	その他の強心薬	[用]1回2.5mgを病態に応じて1日2回まで。ジギタリス、利尿剤と併用して使用。 [副]心室性不整脈、肝障害 [特]内服の強心薬で唯一、予後を悪化させない可能性が少ない	[適]急性・慢性心不全
13・不整脈用剤			ハイリスク群
ジソピラミドカプセル 100mg (リスモダンカプセル)	Ia群抗不整脈薬	[用]1回100mgを1日3回 [注]血中濃度測定 [相]CYP3Aで代謝 [禁]うつ血性心不全、緑内障、尿貯留傾向、高度肝機能異常 [副]低血糖、緑内障悪化・口渇(抗コリン作用)	[適]頻脈性不整脈
アブリンジン塩酸塩カプセル20mg (アスペノンカプセル) 0名	Ib群抗不整脈薬	[用]1回10~20mgを1日2~3回 [注]血中濃度測定 [相]CYP2D6で代謝 [禁]重篤な心不全のある患者 [副]肝障害、無顆粒球症、間質性肺炎 [特]Ia群に近い薬効を有し、持続性心室頻拍の他に心房細動にも用いられる。	[適]頻脈性不整脈
メキシレチン塩酸塩カプセル50mg (メキシチールカプセル) 0名	Ib群抗不整脈薬	[用]1回100mgを1日3回(1日最大450mg) [注]血中濃度測定 [禁]重篤な心不全のある患者 [副]肝障害、高血糖 [相]CYP1A2,2D6で代謝 [特]心室性頻脈、糖尿病性神経障害にも効果	[適]頻脈性不整脈 糖尿病性神経障害
ピルシカイニド塩酸塩カプセル 50mg (サンリズムカプセル)	Ic群抗不整脈薬	[用]1回50mgを1日3回(最大1日225mg) [特]発作性心房細動に使用 [禁]うつ血性心不全 [副]肝障害 [注]血中濃度測定 腎排泄型薬	[適]頻脈性不整脈
アテノロール錠 25mg (テノミン錠)	II群抗不整脈薬 β <sub>2</sub> 遮断薬	[用]1日1回 50mg(1日最高量100mg) [禁]高度徐脈、未治療褐色細胞腫瘍、アシドーシス [副]心不全、気管支喘息、めまい [特]1/4~1/2の少量でも効果が見られることがある(腎機能にも左右される)	[適]不整脈、狭心症、高血圧
アミオダロン塩酸塩錠100mg (アンカロン錠) 0名	III群抗不整脈薬	[用]導入期:1日400mgを1~2分服、維持期:1日200mgを1~2分服。 [禁]重篤な心不全/房室ブロック、ヨウ素過敏症 [副]間質性肺炎、催不整脈、甲状腺機能異常、肝障害 [相]CYP3A4阻害 [特]持続性心室頻拍の停止に有用。心房細動の再発予防にも有効。	[適]心室細動/頻拍、心房細動 致死性不整脈で他剤無効時
14・利尿剤			
フロセミド錠 20mg、40mg (ラシックス錠) 20mg=6、40mg=6.3	ループ系利尿薬	[用]1日1回40~80mgを連日又は隔日 [特]水分排泄能が高い [禁]無尿 [副]電解質異常(Na,K低下)、高尿酸血症、ふらつき	[適]利尿
スピロラクトン錠 25mg (アルダクトンA錠)	カリウム保持性利尿薬	[用]1日50~100mgを分服 [禁]急性心不全 [副]電解質異常(低Na,高K)、不整脈 [特]アルドステロン拮抗作用により、心保護効果もあるとされる	[適]利尿
トリクロルメチアジド錠 2mg (フルイトラン錠)	チアジド系利尿薬	[用]1日2~8mgを1~2回に分服、少量より開始 [禁]無尿 [副]電解質異常、尿酸上昇、血糖上昇、再生不良性貧血 [特]降圧の相乗効果を期待して、降圧剤と併用されることが多い	[適]利尿、高血圧
15・血圧降下剤 17-1・血管拡張剤(降圧剤)			
バルサルタン錠 80mg (ディオバン錠)	アンジオテンシンII拮抗薬(ARB)	[用]1日1回40~80mg(最大160mg) [副]高カリウム、肝障害	[適]高血圧
エナラプリル錠 5mg (レニベース錠)	アンジオテンシン変換酵素(ACE)阻害薬	[用]1日1回5~10mg(1日1回の長時間型) [禁][副][特]カプトプリルと同じ	[適]高血圧
ニフェジピンカプセル 5mg (アダラートカプセル)	Ca拮抗 降圧剤	[用]1回10mgを1日3回 [注]脱カプセルによる舌下投与はしない(急激な血圧低下) [禁]妊婦、急性心筋梗塞 [副]低血圧、頭痛、ほてり [相]CYP3A4で代謝	[適]高血圧
ニフェジピン錠 10mg (アダラートL錠)	Ca拮抗 降圧剤	[用]1回10~20mgを1日1~2回 [注]徐放性製剤のため簡易懸濁法は不適 [禁][副][相]ニフェジピンカプセルと同じ	[適]高血圧
アムロジピンOD錠 5mg (アムロジン、ノルバスク)	Ca拮抗 降圧剤	[用]1日1回2.5~10mg [特]半減期長く長時間作用する [副]ほてり、頭痛、肝障害 ※亜鉛とキレートする	[適]高血圧
ドスペロピン錠 5mg (バイロテンシン錠)	Ca拮抗 降圧剤	[用]1日1回 5~10mg [副]アムロジンと同じ [相]CYP3A4で代謝	[適]高血圧
ドキサゾシン錠 1mg (カルデナリン錠)	α <sub>1</sub> 遮断 降圧剤	[用]1日1回0.5mgから開始→1日1回1~4mg(最高量8~16mg) [副]起立性低血圧、動悸、頭痛、肝障害	[適]高血圧
エブランチルカプセル 15mg 0名	α遮断 排尿障害、降圧剤	[用]1回15mgを1日2回から開始(1日最高量:①高血圧120mg、②排尿障害90mg) [副]起立性低血圧、動悸、頭痛、肝障害	[適]高血圧、排尿障害
カルベジローレル錠 10mg (アーチスト錠)	α、β遮断 降圧、心不全薬	[用]①高血圧、狭心症:1日1回10~20mg ②慢性心不全:1回1.25~10mgを1日2回 [禁]気管支喘息、アシドーシス、心原性ショック [副]徐脈、心不全、肝障害、めまい [相]CYP2D6,2C9,3A4,1A2,2E1で代謝 胆汁排泄型 [特]心保護効果あり。不整脈薬として使われることもある。	[適]高血圧・狭心症、慢性心不全
アーチスト錠 2.5mg	α、β遮断 心不全薬	[用]1回2.5mgを1日2回(最大1日8mg) [注]β遮断薬併用時の休薬は先にβ遮断薬から行う [副]眠気	[適]慢性心不全
ワイテン錠 2mg 0名	中枢性交感神経抑制薬	[用]1回2mgを1日2回(最大1日8mg) [注]β遮断薬併用時の休薬は先にβ遮断薬から行う [副]眠気	[適]高血圧

<b>17-2・血管拡張剤 (狭心症・その他)</b>		
一硝酸イソソルビド錠 20mg (アイトロール錠) 7.6	狭心症血管拡張薬 一硝酸イソソルビド [適]狭心症	[用]1回 20mgを1日2回(最大1日80mg) [特]半減期が長く持続作用 [禁]重篤な低血圧、心原性ショック、頭部外傷、脳出血、閉塞隅角緑内障 [副]肝障害・めまい
ニトロベン舌下錠 0.3mg (ニトログリセリン) 12.9	狭心症血管拡張薬 [適]狭心症発作時	[用]1回0.3~0.6mgを舌下、数分間で効果無ければ同量追加 [禁]イソニトールと同じ [相]降圧剤、利尿剤、血管拡張薬で作用増強
ジピリダモール錠 25mg (ベルサンテン錠) 5.7	抗血小板薬 [適]狭心症、心不全 抗血栓、尿蛋白	[用]①狭心症、心筋梗塞、心不全:1回25mg1日3回、②抗血栓、尿蛋白減少:1回100mg1日3回 [副]狭心症誘発(器質的狭窄例で)、出血傾向増強
ジルチアゼム塩酸塩錠 30mg (ヘルベッサ錠) ①名 5.6	Ca拮抗 狭心症、降圧剤 [適]狭心症、高血圧	[用]狭心症・高血圧:1回30~60mgを1日3回 [禁]重篤なうっ血性心不全、洞不全 [副]徐脈、肝障害、頭痛、ほてり [相]CYP3A4代謝 [注]徐放性製剤のため簡易懸濁法は不適 [特]ジヒドロピリジン系のCa拮抗薬とワソランの中間の性質を示し、狭心症に用いられる
ワソラン錠 40mg 7.1	Ca拮抗 抗不整脈、狭心症 [適]頻脈性不整脈、狭心症	[用]1回40~80mgを1日3回 [注]簡易懸濁法で投与する際には粉碎で使用可 [禁]重篤なうっ血性心不全 [副]動悸、ほてり [相]CYP3A4で代謝 [特]心房細動・粗動、発作性上室性頻拍に適
<b>16・内服 脂質異常症用剤</b>		
ロスバスタチン錠 2.5mg (クレストール錠) 21.7	HMG-CoA阻害薬(スロングスタチン) [適]脂質異常症(高コレステロール)	[用]1日1回2.5~10mg(最大1日20mg) [特]水溶性のHMG-CoA阻害薬 [禁]肝機能低下 [副]横紋筋融解症、腎・肝障害 [相]CYP2Cで代謝、マクロライド系で作用増強
フェノフィブラートカプセル 100mg (リビディル錠、トライコア錠) 19.4	フィブラート系薬 [適]脂質異常症(高中性脂肪)	[用]1日1回134~201mg(TGのみ異常、肝障害→67mgより開始)。空腹避けて食後投与 [禁]肝障害、中等度以上の腎障害、胆道疾患、腎機能以上の場合スタチンと併用禁 [副]横紋筋融解症、肝障害、膵炎 [相]CYP2C9代謝阻害(ワルファリン併用注意)
<b>18・その他の循環器官用薬</b>		
ミドドリン塩酸塩錠2mg (メトリジン錠) ①名 12.8	低血圧治療薬 [適]本態性/起立性低血圧	[用]1回2mgを1日2回(1日最大8mg) [禁]甲状腺機能亢進症、褐色細胞腫 [副]頭痛、悪心、腹痛、腎障害、肝障害 [特] $\alpha$ 1刺激による末梢血管収縮(心後負荷の増強→心機能障害のある症例には注意)
イフェンプロジル錠 20mg (セロクラール錠) ①名 5.8	脳循環改善薬 [適]脳梗塞後遺症、めまい	[用]1回20mgを1日3回(12週投与で無効の場合は中止する) [禁]頭蓋内出血発作後、止血未完成 [副]出血傾向 [特]めまい、しびれに適応
カリメート経口液20%(25g/包) 82.5	カリウム吸着イオン交換樹脂 [適]高カリウム血症	[用]1日3~6包を2~3分服用 [禁]腸閉塞 [副]便秘 [相]低Kによりジゴキシンの作用増強
<b>19・鎮咳剤</b>		
アストミン錠 10mg 5.6	非麻薬性鎮咳薬 [適]鎮咳	[用]1回10~20mgを1日3回
<b>20・去痰剤</b>		
アンブロキソール錠 15mg (ムソルバン錠) 5.6	去痰薬 [適]去痰、副鼻腔炎の排膿	[用]1回15mgを1日3回 [特]サーファクタント分泌を増加させ、痰の咯出を容易にする
カルボシステイン錠 250mg 5.6	去痰薬 [適]去痰、慢性副鼻腔炎排膿	[用]1回250~500mgを1日3回 [副]消化器症状、肝障害 [特]喀痰の粘稠度の低下・気道粘膜正常化痰を出しやすくする
<b>22・気管支拡張剤</b>		
<b>ハイリスク薬(オマリ)</b>		
ネオフィリン錠 100mg ①名 5.8	テオフィリン速放製剤 [適]閉塞性肺炎患、うっ血性心不全	[用]1回100mgを1日3~4回 [副]痙攣、意識障害、肝障害、嘔吐、食欲不振、動悸 [注][相]CYP1A2代謝、CYP阻害で併用薬に影響を与える [注]血中濃度測定 [特]気管支拡張、強心利尿、冠血管拡張作用あり。簡易懸濁可能
テオドール錠 100mg (テオロング錠) ①名 9.7	テオフィリン徐放製剤 [適]気管支喘息、気道閉塞性障害	[用]1回200mgを1日2回(朝・寝る前) [注]血中濃度測定 [注]徐放性製剤:粉碎/簡易懸濁法は不適→ネオフィリンを使用 [相]ネオフィリンと同じ [副]痙攣、意識障害、肝障害、嘔吐、食欲不振、動悸、高血糖
<b>23・止瀉剤、整腸剤</b>		
ガスコン・ドロップ 20mg/1mL 1mL=3.6	消化管ガス吸着薬 [適]検査前腸内ガス除去	[用]胃内視鏡検査:15~40分前に40~80mgを10mLの水と共に服用 [注]振ってから使用する
ガスサール錠 40mg (ガスコン錠) 5.6	消化管ガス吸着薬 [適]腸内ガス除去	[用]1回40~80mgを1日3回 [副]軟便、胃部不快感
ミヤBM錠 5.6	酪酸菌(宮入菌)製剤 [適]便秘、下痢など腸内環境改善	[用]1回1~2錠を1日3回 [特]芽胞菌のため熱に強く、抗生剤への耐性も強い。
ラックビー微粒N(1g/包) 6.2	ビフィズス菌製剤 [適]便秘、下痢など腸内環境改善	[用]1回1~2gを1日3回 [特]牛乳アレルギーにも使用可能な整腸剤 [注]抗生剤には耐性がないので併用時無効
タンナルビン 6.9	整腸剤 [適]下痢症	[用]1日3~4gを3~4回 [禁]出血性大腸炎、牛乳アレルギー、鉄剤と併用で効果減弱 [注]ロペラミドと併用で効果減弱 [副]肝障害、便秘
ロペミックカプセル 1mg (ロベミンカプセル) 9.5	止瀉薬 [適]下痢症	[用]1日1~2mgを1~2回 [禁]出血性大腸炎、抗菌薬による偽膜性大腸炎、細菌性下痢 [副]イレウス、眠気、便秘 [特]オピオイド受容体に結合し腸運動を抑制、下痢回数・量が多い時に使用

<b>24・消化性潰瘍用剤</b>		
ランソプラゾールOD錠 15mg (タケプロンOD錠) 26.4	プロトンポンプ阻害制酸薬 [適]胃・十二指腸潰瘍、ピロリ菌除菌	[用]1回15～30mgを1日1回 [副]造血器障害、肝障害、間質性腎症 [相]CYP2C19,3A4で代謝
タケキャブ錠 20mg 201.6	プロトンポンプ阻害薬(P-CAB) [適]胃・十二指腸潰瘍、ピロリ菌除菌	[用]胃・十二指腸潰瘍:1回20mgを1日1回、NSAIDs併用時の左記予防1回10mgを1日1回 [副]消化器症状、肝障害 [相]3A4で代謝 [特]従来のPPIより作用発現が早く、強い胃酸抑制。ピロリ菌除去においても有効性高い
ファモチジンOD錠 20mg (ガスターD錠) 15.9	H <sub>2</sub> 拮抗制酸薬 [適]胃・十二指腸潰瘍	[用]1回10～20mgを1日2回 or 1回20～40mgを寝る前 [副]造血器障害、腎障害、肝障害、認知症悪化 [注]腎機能に応じて減量を
レバミピド錠 100mg (ムコスタ錠) 9.9	胃粘膜保護薬 [適]胃・十二指腸潰瘍	[用]1回100mgを1日3回 [特]胃粘膜保護薬 副作用や相互作用少ない
ドグマチール錠 50mg ①名 13.1	D <sub>2</sub> 拮抗 抗精神病薬 [適]統合失調症、うつ病、胃腸潰瘍	[用]統合失調症:1日300～600mg(最高1200mg)、うつ:1日150～300mg(最高600mg) 胃・十二指腸潰瘍:1回50mgを1日3回 [禁]褐色細胞腫 [副]悪性症候群、QT延長、体重増
<b>25・健胃消化剤</b>		
採用無し		
<b>26・制酸剤</b>		
酸化マグネシウム(0.33g/p) 1g=1.51	マグネシウム下剤 [適]便秘、制酸	[用]1回0.5～2gを1日1～3回 [副]高Mg [相]Ca、ビタミンD <sub>3</sub> 剤との併用、胃内pH上昇の影響 [注]ニューキノロン系、テトラサイクリン系の抗生物質、鉄剤と同時服用しない [特]腸内に水分を引き寄せ、便を軟らかくさせる
<b>27・下剤・浣腸剤</b>		
アローゼン顆粒 (0.5g/包) 1包=3.6	刺激性下剤 [適]便秘	[用]1回0.5～1gを1日1～2回 [禁]痙攣性便秘 [副]電解質異常(特に低カリウム)、赤色尿
センノシド錠 12mg (ブルゼニド錠) 5	刺激性下剤 [適]便秘	[用]1回12～24mgを寝る前 [注]腸溶性のため簡易懸濁法不可 [禁][副]アローゼンと同じ
ピコスルファートNa液0.75% (ラキソベロン液) 1mL=9.1	刺激性下剤 [適]便秘	[用]1日1回10～15滴、(5滴で錠剤2.5mgに相当) [禁]腸管閉塞
<b>28・利胆剤</b>		
ウルソデオキシコール酸錠 100mg (ウルソ錠) 6.5	利胆薬 [適]胆道系異常を伴う肝疾患 慢性肝炎、C型肝炎、胆石	[用]①利胆、肝機能改善:1回50mgを1日3回、②胆石・C型肝炎:1回200mgを1日3回 [禁]完全胆道閉塞、劇症肝炎 [副]間質性肺炎 [相]SU剤の血糖降下増強
<b>29・その他の消化器官用薬</b>		
モサプリド錠 5mg (ガスマチン錠) 9.9	消化管機能改善薬 [適]慢性胃炎に伴う消化器症状	[用]1回15mgを1日3回 [相]抗コリン作用を有する薬剤で作用減弱 [副]肝障害
ドンペリドン錠 10mg (ナウゼリン錠) 5.8	制吐剤 [適]悪心、嘔吐、胸やけなど	[用]1回10mgを1日3回食前 [特]非中枢性の抗ドパミン作用を持つ制吐剤 [相]CYP3A4 [禁]消化管出血、機械的イレウス、下垂体腫瘍 [副]錐体外路症状、痙攣、肝障害、QT
カモスタット錠 100mg (フォイバン錠) 9.2	蛋白分解酵素阻害剤 [適]慢性膵炎の急性、術後逆食	[用]①慢性膵炎:1日600mg分3、②術後逆流性食道炎1日300mg分3 [副]血小板異常、肝障害、黄疸、高K
ポリカルボフィルCa細粒83.3% (コロネル錠、ポリフル錠) ①名 13.9/g	過敏性腸症候群治療剤 [適]上記における下痢、便秘	[用]1日1.8～3.6gを1日3回(下痢は1.8gでも効果あり) [特]消化管内水分を調整する [禁]急性腹部疾患、術後イレウス、高Ca血症、腎結石、腎不全 [副]消化器症状、肝障害 [注]活性型ビタミンD併用で高Ca、ジギタリス併用で作用増、ニューキノロン併用で吸収減
メサラジン錠 250mg (ペンタサ錠) ①名 21.7	潰瘍性大腸炎、クローン病治療薬	[用]1回500～1000mgを1日3回(最大1日2250mg)[注]徐放性製剤:粉砕/簡易懸濁法不適 [禁]重篤な肝・腎障害、サルチル酸アレルギー[副]造血器障害、肝障害、消化器症状、尿着色
<b>30・甲状腺、副甲状腺ホルモン剤</b>		
チラージンS錠 50μg 9.6	甲状腺ホルモン補充薬 [適]甲状腺機能低下症	[用]1日1回25～400μg [禁]新鮮な心筋梗塞 [副]狭心症、肝障害 [相]フェロミア、カリメート併用で吸収低下(間隔を空けて投与)。 ワルファリン、血糖降下薬で作用増強
メルカゾール錠 5mg ①名 9.6	抗甲状腺薬 [適]甲状腺機能亢進症	[用]開始量1回10mgを1日3～4回→維持量1回5mgを1日1～2回 [副]無顆粒球症、肝障害 [相]ワルファリン、ジゴキシンの効果が変動する
<b>31・副腎ホルモン剤</b>		
プレドニゾン錠 5mg (プレドニン錠) 9.6	<b>ハイリスク群</b> 副腎皮質ステロイド薬 [適]免疫疾患各種 喘息等の炎症時	[用]1日5～60mgを1～4分服 [禁]全身感染症、消化性潰瘍、後囊白内障、緑内障 [副]易感染性、糖尿病、消化器障害、精神変調、骨粗鬆症、白・緑内障、血栓症、高血圧、低K [相]CYP3A4代謝→アレピアチン、ワルファリン、糖尿病薬、利尿薬、マクロライド系等の作用に影響
<b>33・その他の泌尿生殖器及び肛門用薬</b>		
タムスロシンOD錠 0.2mg (ハルナールD錠) 28.6	前立腺肥大治療薬 α <sub>1A</sub> 遮断薬 [適]前立腺肥大症	[用]1日1回0.2mg [特]前立腺肥大に伴う排尿障害の第1選択薬(特に排尿障害) [副]失神(起立性低血圧、血圧低下)、肝障害、口渇 [相]降圧剤の作用増強
ナフトピジルOD錠 75mg (フリバス錠) 33.5	前立腺肥大治療薬 α <sub>1A</sub> 遮断薬 [適]前立腺肥大症	[用]1日1回25～75mg [特]前立腺肥大に伴う排尿障害の第1選択薬(特に頻尿) [副]失神(起立性低血圧、血圧低下)、肝障害、口渇 [相]降圧剤の作用増強
プロピベリン錠 10mg (パップフォー錠) 14.6	尿失禁・頻尿治療薬 抗コリン薬 [適]頻尿、失禁、過活動膀胱	[用]1日1回20mg(最大40mg) [相]CYP3A4代謝 [禁]腸管閉塞、緑内障、下部尿路閉塞、重症筋無力症、重篤な心疾患[副]抗コリン作用

34・ビタミンA及びD剤 (骨粗鬆症治療薬)		
カルフィーナ錠 1μg (ワンアルファ錠) 5.8	活性化ビタミンD <sub>3</sub> 製剤 [適]骨粗鬆症、VD代謝異常	[用]1日1回0.5~4μg [副]血清Ca上昇を伴う急性腎不全、肝障害 [相]Mg製剤で作用増強。ジゴキシンの作用増強
35・ビタミンB剤(ビタミンB1剤を除く)		
パントシン錠 100mg ①名 8.7	パントテン製剤 [適]パントテン補充、弛緩性便秘、脂質異常	[用]①パントテン補充:1回30~60mgを1日1~3回、②弛緩性便秘:1回100mgを1日1~3回 ③脂質異常:1回200mgを1日3回
メコバラミン錠 500μg (メチコバル錠) 5.6	ビタミンB <sub>12</sub> 製剤 [適]末梢性神経障害、B <sub>12</sub> 欠乏貧血	[用]1回500μgを1日3回
36・カルシウム剤		
乳酸カルシウム 3.77	カルシウム製剤 [適]カルシウム欠乏	[用]1回1gを1日2~5回 [禁]高カルシウム血症、腎結石、重篤な腎不全 [注]活性化ビタミンD→高Ca、ジギタリス→作用増、ニューキノロン系→キレートで吸収減 [副]高Ca、結石、便秘 [特]1gあたりCa <sup>2+</sup> =9.19mEq。
37・無機質製剤		
グルコンサンK細粒4mEq(1g/包) 1包=8.4	カリウム補充製剤 [適]カリウム欠乏	[用]1回10mEq相当を1日3~4回 [禁]重篤な腎障害、アジソン病、消化管通過障害 [相]Kを上昇させる薬剤
フェロミア錠 50mg 8.7	鉄剤 [適]鉄欠乏性貧血	[用]1回100mgを1日1~2回食後 [副]悪心・嘔吐 [注]ニューキノロン、テトラサイクリン系との同時服用で吸収阻害(2時間以上開ける)、便黒色あり
38・止血剤		
アドナ錠 30mg 10.2	血管補強薬 [適]出血	[用]1回10~30mgを1日3回 [特]血管増強剤で、血小板・凝固形には影響を与えない
トランサミンカプセル 250mg 9.9	抗プラスミン薬 [適]出血、咽頭炎、口内炎、尋麻疹	[用]1回250~500mgを1日3~4回 [特]抗プラスミン薬、喉の炎症にも用いる
39・血液凝固阻止剤 <b>ハイリスク群</b>		
ワルファリンK錠 0.5mg、1mg (ワーファリン錠) 0.5mg=9.6、1mg=9.6	抗血液凝固薬 ビタミンK拮抗薬 [適]血栓塞栓症 心房細動合併時の血栓予防	[用]初回:1日1回5~6mg→維持量:1日1回1~5mg [注]PT-INRで凝固能確認(一般2.0~3.0、高齢者1.5~2.5に) [禁]出血、重篤な肝・腎障害 [注][相]CYP2C9、1A2、3A4代謝で多くの薬剤と相互作用があるので併用薬変更時は注意 納豆・青汁などビタミンK含有食品は避ける(効果減弱する) *フルカリックにもVK含有
リクシアナOD錠 60mg 545.6	抗血液凝固(FXa阻害) [適]静脈血栓・全身塞栓症	[用]1日1回60mg(体重・腎機能・併用薬で30mgに減)、整形外科手術例では30mg。 [禁]出血傾向、急性細菌性心内膜炎、腎不全 [副]出血、肝障害、間質性肺疾患 [相]キニジン、ワソラン、マクロライド系と併用では減量。
40・その他の血液・体液用薬(抗血小板薬 <b>ハイリスク群</b> )		
バッサミン配合錠A81 (バファリン配合錠A81) 5.6	抗血小板薬 [適]脳梗塞・心筋梗塞の血栓	[用]1日1回1錠 [注]吸湿性有り、ダイアルミネート配合(制酸目的でAl含む) [禁]出血傾向 [副]出血、造血器障害、喘息誘発、肝障害、消化器潰瘍 [相]糖尿病薬、利尿剤、ステロイド(作用増)、テトラサイクリン・ニューキノロン(作用減)、NSAIDs(作用増)
シロスタゾール錠 100mg (プレタール錠) 33.1	抗血小板薬 [適]脳梗塞・心筋梗塞の血栓	[用]1回100mgを1日2回 [禁]出血、うつ血性心不全 [相]CYP3A4代謝 [副]狭心症、造血器障害、肝障害、間質性肺炎、頭痛、頻脈
サルボグレラート塩酸塩錠100mg (アンブラグ錠) 23.5	抗血小板薬 [適]ASOに伴う潰瘍、疼痛、冷感等	[用]1回100mgを1日3回 [禁]出血傾向 [副]脳出血、消化管出血、造血器障害、肝障害 [相]種々のCYP代謝の影響を受ける
ベラプロストNa錠 20μg (ドルナー、プロサイリン) 19	抗血小板薬 [適]ASOに伴う潰瘍、疼痛、冷感等 原発性肺高血圧症	[用]①ASO:1回40μgを1日3回、②肺高血圧:1回20μgを1日3回(最大1日180μg) [禁]出血傾向 [副]頭痛、ほてり、嘔吐、下痢、肝障害、心筋梗塞
41・解毒剤		
球形活性炭細粒(2g/包) (クレメジン細粒) 1包=116	球形活性炭 [適]腎機能障害における尿毒症	[用]1回2gを1日3回 [特]慢性腎不全における尿毒症毒素を消化管内で吸着する [禁]消化管に通過障害がある場合 [相]他の薬剤の吸着を避けるため30~60分ずらして投与
42・痛風治療剤		
アロプリノール錠 100mg (ザイロリック錠) 7.7	尿酸生成阻害薬 [適]高尿酸血症	[用]1回100mgを1日2~3回食後 [副]造血器障害、肝・腎障害(腎機能低下時注意) [相]併用薬の代謝を弱め作用増強させる [注]腎機能に応じて減量を
ポトレンド配合散 (ウラリット-U散) 7.8	尿アルカリ化薬 [適]高尿酸血症、アシドーシス	[用]①痛風:1回1gを1日3回、②アシドーシス:1回2gを1日3回 [副]血清K上昇



43・糖尿病用剤		
<b>ハイリスク群</b>		
グリメピリド錠 1mg (アマリール錠)	スルフォニルウレア(SU)糖尿病薬 [適]2型糖尿病	[用]1日1～4mgを1～2分服(1日最高6mg) [特]第3世代SU剤、グリベンクラミドより持続性 [禁]重症ケトシス、重篤な肝・腎障害、重症感染症・外傷、下痢・嘔吐(作用増強) [副]低血糖 [相]バファリン、ワルファリン、β遮断薬、抗生剤で作用増強、アレビアチン、利尿剤などで作用減弱
グラクティブ錠 50mg	DPP-4阻害 糖尿病薬 [適]2型糖尿病	[用]1回50mgを1日1回(最大100mg) [禁]重症ケトシス、糖尿病性昏睡、1型糖尿病、透析を要する腎障 [特]インクレチン分解阻害薬 食事依存で効果を示す→他剤に比べ体重増や低血糖が少ない [副]肝障害、膝炎 [注]腎排泄のため腎機能低下に注意、[相]SUとの併用で作用増強するので減量
アクトス錠 15mg (0名)	チアゾリジン 糖尿病薬 [適]2型糖尿病	[用]1日1回15～30mg朝(最大45mg) [特]インスリン抵抗性を改善 [禁]心不全、ケトシス、重篤な肝・腎障害・感染症・外傷 [副]心不全、体重増、浮腫、肝障害、低血糖
メトグルコ錠 250mg	ビグアナイド系 糖尿病薬 [適]2型糖尿病	[用]1日500～750mgを2～3分服(1日最高2250mg) [特]インスリン抵抗性改善、肥満例に向く [禁]腎障害(乳酸アシドーシス↑)、肝障害、低酸素状態、脱水 [注]腎毒性の強い薬剤は併用注意
ボグリボースOD錠 0.2mg (ベイスンOD錠) (0名)	α-グルコシターゼ阻害 糖尿病薬 [適]糖尿病	[用]1回0.2～0.3mgを1日3回毎食直前 [特]小腸での糖の吸収を抑制する [禁]重症ケトシス、重症感染症・外傷 [副]腹部膨満・放屁、肝障害、低血糖→ブドウ糖で対処
44・他に分類されない代謝性医薬品		
メトトレキサートカプセル 2mg (リウマトレックス) (0名)	免疫抑制薬(葉酸拮抗) [適]関節リウマチ	[用]1週間6mg(1日目2mg×2、2日目2mg×1)(最大1週間8mg) [禁]骨髄抑制、慢性肝疾患、腎障害、胸水腹水 [副]感染症、肝不全、腎不全、間質性
45・抗ヒスタミン剤		
ボラミン錠 2mg	第1世代抗ヒスタミン薬 [適]掻痒、じんましん、鼻炎	[用]1回2mgを1日1～4回 [禁]緑内障、下部尿路閉塞性疾患 [副]造血器障害、痙攣、眠気、抗コリン作用(口渇等)
46・その他のアレルギー用薬		
タリオンOD錠 10mg	第2世代抗ヒスタミン薬 [適]掻痒、鼻炎	[用]1回10mgを1日2回 [特]第2世代薬は、ボラミン等 に比べ眠気などの副作用は少な
47・主としてグラム陽性・陰性菌に作用(ペニシリン、セフェム系) <span style="float: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">各抗生剤の適応菌種はスペクトルチャート等を参照</span>		
アモキシシリンカプセル 250mg (サワシリン)	ペニシリン系抗生物質	[用]1回250mgを1日3～4回 [副]肝障害、下痢、味覚異常 [特]広範囲ペニシリン薬。3剤併用でピロリ菌除去にも使用される。
フロモックス錠 100mg	第3世代セフェム系抗生物質	[用]1回100～150mgを1日3回 [副]急性腎不全、造血器障害、肝障害
48・主としてグラム陽性菌、マイコプラズマに作用(マクロライド系)		
クラリスロマイシン錠 200mg (クラリス錠、クラリシッド錠)	マクロライド系抗生物質 (16員環)	[用]1回200mgを1日2回 [副]腎不全、肝障害、QT延長、消化器症状 [相][注]CYP3A4の代謝阻害あり→併用薬に影響
アジスロマイシン錠 250mg (ジスロマック錠)	マクロライド系抗生物質 (15員環)	[用]1日1回500mgを3日間投与 [特]3日投与で効果が1週間持続する [副]腎不全、肝障害、QT延長、消化器症状 [相][特]薬物相互作用は少ない
49・合成抗菌剤(ニューキノロン系)		
<共通>[相]ニューキノロン系とカム・鉄剤を併用する時は1～2時間程度間隔をあけて投与する。 [注]ロブ、ソレルモンなどの非ステロイド系抗炎症との併用で痙攣誘発の可能性有り(てんかん素因がある場合は注意)。		
レボフロキサシン錠 (クラビット錠)	ニューキノロン系抗生物質	[用]1日1回500mg(腎機能に合わせ調整) [特]呼吸器関連起原因菌も得意とする広域ニューキノロン薬 [副]アナフィラキシー、痙攣、肝障害、腎障害、造血器障害、低血糖 [相]CYP1A2代謝
シプロフロキサシン錠 100mg (シプロキサン)	ニューキノロン系抗生物質	[用]1日100～400mgを1日1～3回 [副][相]レボフロキサシンと同じ
51-1・その他の化学療法剤(抗生剤)		
ダイフェン配合錠 (バクタ配合錠)	サルファ剤(ST合剤)	[用]1日2回1回2錠(Ccr<30のとき半量、Cre<15は禁忌) 原則他剤無効時のみ使用 [禁]血液障害 [副]血液障害、重篤な皮膚障害、肝障害、腎不全、高K
ブラジール錠 250mg	トロコナゾール [適]トリコモナス、嫌気性菌感染	[用]①トリコモナス:1回250mgを1日2回10日、②感染性腸炎:1回250mgを1日4回or1回500mgを1日3回、10～14日 [禁]血液疾患、脳・脊髄に器質的疾患 [副]末梢神経障害 [注]簡易懸濁法は困難 [特]偽膜性腸炎やピロリ菌の2次除菌でも使われます
50・抗ウイルス剤		
タミフルカプセル 75mg	抗インフルエンザ薬 [適]A,B型インフルエンザ	[用]1回75mgを1日2回5日間(予防:1日1回75mgを7～10日間)投与 [副]急性腎不全、造血器障害、肝障害、精神症状、下痢
アシクロビル錠 400mg (ゾビラックス錠)	抗ウイルス薬 [適]単純・帯状疱疹、水痘 (ヘルペスウイルス)	[用]①単純疱疹:1回200mgを1日5回、②帯状疱疹:1回800mgを1日5回 [副]造血器障害、急性腎不全、精神症状、肝障害 [注]消化管からの吸収率などが悪いため、1日頻回服用する必要がある
51-2・その他の化学療法剤(抗真菌、水虫薬)		
フルコナゾールカプセル50mg (ジフルカン錠)	深在性抗真菌薬 [適]真菌血症、各種真菌症	[用]カンジダ:50～100mg、他:50～200mgを1日1回 [禁]トリアゾラム併用(CYP3A阻害) [副]SJ/TEN、血液障害、腎不全、肝障害、QT延長、高K [注]ワルファリン増強(CYP2C阻害) [特]カンジダ、クリプトコッカスに有効だが、糸状菌には無効。経口でも吸収率や組織移行性が良好
テルビナフィン錠 125mg (ラミシール錠)	表在性抗真菌薬 [適]水虫(白癬)、カンジダ	[用]1日1回125mgを食後 [禁][副]重篤な肝障害・血液障害・横紋筋融解症 [相]CYP代謝・阻害あり、併用薬に影響

<b>52・X線造影剤</b>		
ガストログラフィン経口・注腸用 1mL=14.4	[適]消化管造影	[用]①消化管撮影:60mL内服または3~4倍に希釈し、最高500mLを注腸 ②CT造影:30~50倍量の水で希釈し250~500mL内服 [禁]ヨード過敏症 [副]下痢
<b>53・その他の診断用薬(対外診断用医薬品を除く)</b>		
トレーランG 75g 205.1	[適]糖尿病診断(75gOGTT)	[用]経口ブドウ糖負荷試験を行う際に1本(75gブドウ糖)を服用 [副]悪心、腹部膨満感
ユービット錠 100mg 2744.6	[適]ピロリ菌診断	[用]ピロリ菌検査:100mg(1錠)を空腹時に服用
<b>54・他に分類されない治療を主目的としない医薬品</b>		
ガスチーム散 2万単位/0.5g 106.4	胃内粘液溶解除去剤 [適]胃内視鏡検査前処置	[用]検査15分前に、2万単位を重曹1gとともに80mLの水に溶かし経口投与 [禁]胃内出血 [特]胃内視鏡検査における胃内粘液の溶解除去に使用
<b>55・あへんアルカロイド系麻薬 <span style="border: 1px solid red; border-radius: 50%; padding: 2px;">麻</span></b>		
オプソ内服液 5mg/2.5mL 115.3	モルヒネ水剤 [適]癌性疼痛、各種疼痛	[用]1日30~120mgを1日6回に分割し投与 [禁][副]ピーガードと同じ [特]速効性モルヒネの水剤(レスキューに使用)、モルヒネの苦味も軽減されている
コデインリン酸塩散10% 1g=147.1	リン酸コデイン [適]癌性疼痛、各種疼痛、鎮咳	[用]1回20mg、1日60mg 鎮咳、鎮痛に用いる。(効果が示す投与量に上限あり) [禁]重篤な呼吸抑制、肝障害、痙攣状態、出血性大腸炎、細菌性下痢 [副]呼吸抑制、錯乱、気管支痙攣、便秘、眠気、連用で依存性
<b>56・漢方製剤</b>		
ツムラ大建中湯エキス顆粒【100】 2.5g=22.5		[用]1日15gを2~3回に分割し食前又は食間 [特]イレウス予防にも用いられる。消化管運動亢進作用あり。特に虚症の例に向く
ツムラ抑肝散加陳皮半夏エキス顆粒【83】 2.5g=37.25		[用]1日7.5gを2~3回に分割し食前又は食間 [特]高齢者のアルツハイマー型認知症の周辺症状に効果を示す(精神安定作用)
ツムラ芍薬甘草湯エキス顆粒【68】 2.5g=17.5		[用]1日7.5gを2~3回に分割し食前又は食間 [副]うっ血性心不全、心室細動 [特]こむら返り、急激に起こる筋肉の痙攣を伴う痛み、内臓痛に効果
ツムラ清肺湯エキス顆粒【90】 3g=31.5		[用]1日9gを2~3回に分割し食前又は食間 [副]消化器症状、肝障害、低K、腸間膜静脈硬化症 [特]COPDや肺気腫の呼吸器症状軽減(去痰)に使用されます
ツムラ猪苓湯エキス顆粒【40】 <span style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 2px;">名</span> 2.5g=35.25		[用]1日7.5gを2~3回に分割し食前又は食間 [特]尿路結石症のフォローに有用。尿道炎、排尿時痛に用いられる。
コタロー補中益気湯エキス顆粒【41】 4g=45.2		[用]1日12gを2~3回に分割し食前又は食間 ・間質性肺炎 [特]補剤であり夏バテや食欲不振時にも用いられる。気虚の例に向く
<b>57・経腸栄養剤</b>		
エレンタール 80g/包 1包=460	成分栄養剤 [適]タンパク質不適合症例	[用]80gを300mL(1kcal/mL)となるように水・微温湯に溶かし、 24時間持続的に注入(75~100mL/h)。1日480~640g(1800~2400kcal) [禁]アミノ酸代謝異常、重症糖尿病 [副]低血糖、下痢 [特]蛋白源はアミノ酸で消化をほとんど必要としない成分栄養剤。ビタミン(+)、脂質(-)
ラコールNF配合経腸用液 400mL/バッグ=292	半消化態栄養剤 [適]経管栄養補給	[用]1日1200~2000mL(1kcal/mL)を75~125mL/hで持続または分割投与 [禁]牛乳蛋白アレルギー、イレウス、重症糖尿病、高度肝・腎障害 [副]下痢
エンシュア・リキット 250mL=135、500mL=270	半消化態栄養剤 [適]経管栄養補給	[用]1日1500~2250mL(1kcal/mL)を100~150mL/hで持続または分割投与 [禁]牛乳蛋白アレルギー [副]下痢 [特]乳糖は含まないので乳糖不耐症にも可。

1・催眠鎮静剤、抗不安剤 2・抗てんかん剤 <b>ハイリスク群</b>		
ミダゾラム注 10mg/2mL 65	鎮静、麻酔導入薬 短時間作用ベンゾジアゼピン [適]全身麻酔導入、処置時鎮静	[用]全身麻酔導入:0.15~0.3mg/kg、1分以上かけて静注。+半量or同量を追加他、麻酔前投薬、人工呼吸中の鎮静、歯科・口腔外科時の鎮静は添付文書参照 [禁]急性狭隅角緑内障、重症筋無力症 [副]呼吸抑制、心停止 [相]CYP3A4代謝
サイレース注 2mg/1mL 141	鎮静、麻酔導入薬 中時間作用ベンゾジアゼピン [適]全身麻酔導入、局所麻酔時鎮静	[用]①局所麻酔時の鎮静:0.01~0.03mg/kg、1mg/分以上かけて投与。 ②全身麻酔導入:0.02~0.03mg/kg、1mg/分以上かけて投与。 [禁]急性狭隅角緑内障、重症筋無力症 [副]呼吸抑制
アタラックスP注 25mg/1mL 56	抗不安薬 非ベンゾジアゼピン系 [適]神経症、麻酔前投薬	[用]静注:1回 25~50mg、筋注:1回50~100mgを4~6時間毎に(最高100mg) [副]抗コリン作用、肝障害 [相]CYP3A代謝 [特]不安、抑うつにも効果あり
ホリゾン注 10mg/2mL (=セルシン注) 88	抗不安、抗てんかん薬 長時間作用ベンゾジアゼピン [適]抗不安、興奮、てんかん重	[用]10mgを緩徐に静注・筋注、以後3~4時間毎。 [禁][副]サイレースと同じ [注]水に溶けにくいので単剤で投与する [特]長時間作用。麻酔導入に使用されるが、局所麻酔時の鎮静にも使用される。
フェノバル注 100mg/1mL 72	抗てんかん薬 [適]痙攣(大発作)、不安の鎮静	[用]1回 50~200mgを1日1~2回皮下or筋注 [副]呼吸抑制、眠気、肝障害、血球減少 [相]CYP3Aを誘導する
アレビアチン注 250mg/5ml 125	抗てんかん薬 [適]痙攣(大発作)	[用]125~250mg、開始は50mg/分以内の速度で静注 [注]血中濃度測定 [注]多剤との混合でルート閉塞、結晶析出の可能性 [相]CYPを誘導する [禁]洞性徐脈、高度刺激伝導障害 [副]造血管障害、肝障害
3・解熱鎮痛消炎剤 ⇒麻薬・非麻薬は47-1,47-2を参照		
スルピリン注 250mg/1mL (メチロン注) 92	解熱鎮痛薬 ピリン系 [適]他剤無効時の緊急解熱	[用]1回250mgを症状により最大500mgを皮下注・静注 [注]ピリン系のため、アレルギーを有する人は注意 [禁]消化器潰瘍、重篤な血液異常・肝・腎障害、アスピリン喘息既往
ノイトロピン注 3.6単位/3mL 160	その他の疼痛治療薬 [適]腰痛、神経痛、アレルギー	[用]①腰痛:1日1回3.6単位・筋注・皮下注、②スモン:1日1回7.2単位を静注 [特]ワクシニアウイルス接種家兔炎症皮膚抽出液で下行性疼痛抑制賦活作用を有する
4・精神神経用剤 <b>ハイリスク群</b>		
セレネース注 5mg/1mL 89	抗精神病薬 [適]統合失調症、躁病	[用]1回 5mgを1日1~2回筋注or静注 [注]血中濃度測定 [禁]重症心不全、パーキンソン病、ボスマン(逆に血圧低下する)
5・局所麻酔剤		
キシロカイン静注2% 100mg/5mL 92	局所麻酔薬 [適]硬膜外・伝達・浸潤・	[用]①硬膜外麻酔:100~200mg、②伝達麻酔:30~200mg、③浸潤麻酔:20~200mg *心室頻脈:1回 50~100mgを1~2分で静注(1時間300mg以内)
キシロカイン注ポリアンブ1% 50mg/5mL 58	表面麻酔、心室性不整脈 [適]消化管X線・内視鏡検査前処置	[禁]アドレナリン含有製剤と併用 [注]血中濃度測定 [注]ソルダクトンと配合変化 [相]CYP1A2,3A4で代謝
マーカイン注脊麻用0.5%【高比重】 381	局所麻酔薬 [適]脊椎麻酔(腰椎麻酔)	[用]1回2~4mLを脊髄クモ膜下腔に注入 [副]血圧低下、徐脈、痙攣、嘔気 [相]CYP3A4代謝、アミオダロンとの併用注意 [特]等比重に比べ発現早く・持続短い
6・骨格筋弛緩剤		
採用なし		
7・鎮けい剤(抗コリン薬)		
ブスコパン注 20mg/1mL 58	鎮けい薬 [適]消化器系痙攣、子宮痙攣 消化管X線・内視鏡検査前処置	[用]1回10~20mgを静注・皮下注・筋注 [禁]出血性大腸炎、緑内障、排尿障害、重篤な心疾患、イレウス [副]抗コリン作用
硫酸アトロピン注 0.5mg/1mL 93	抗コリン薬 [適]消化管運動亢進・痙攣性疼痛 副交感神経興奮剤の中毒、徐脈	[用]0.5~1.0mgを皮下注・筋注(場合によって静注) [禁]緑内障、前立腺肥大、麻痺性イレウス [副]抗コリン作用(頻脈、口渇、散瞳、嚥下困難、頭痛、排尿障害、せん妄)
9・不整脈用剤 <b>ハイリスク群</b>		
ワソラン注 5mg/2mL 250	Ca拮抗・抗不整脈薬 [適]頻脈性不整脈(上室性)	[用]1回5mgを生食orブドウ糖液で希釈し5分以上かけて徐々に静注 [禁]重篤なうっ血性心不全 [副]動悸、ほてり
シベノール静注 70mg/5mL 856	Ia群・抗不整脈薬 [適]頻脈性不整脈	[用]1回1.4mg/kgを2~5分かけて静注 [特]上室性のリエントリー不整脈に使用 [禁]緑内障、尿貯留傾向 [副]低血糖、抗コリン作用、肝障害
ビルシカイニド塩酸塩静注50mg/5mL 407	Ic群・抗不整脈薬 [適]頻脈性不整脈	[用]期外収縮:1回0.75mg/kg、頻拍1回1.0mg/kgを10分かけて静注(最大225mg/日) [禁]重篤なうっ血性心不全、房室・洞房ブロック [副]催不整脈 [特]発作性心房細動の停止に好んで用いられる。腎排泄型薬剤
インデラル注 2mg/2mL 85	β遮断・抗不整脈薬 [適]頻脈性不整脈・心不全	[用]1回2~10mgを徐々に静注 [相]CYP2D6,1A2,2C19代謝 [禁]気管支喘息、アシドーシス、うっ血性心不全、低血圧、未治療褐色細胞腫

Ib群:キシロカイン静注用2% ⇒5・局所麻酔剤

<b>8-1・血管拡張薬</b>		
ミオコール注 5mg/10mL (ミスロール注5mg)	硝酸薬 ニトログリセリン 291 [適]手術時の異常高血圧、 急性心不全、不安定狭心症	[用]生食などで0.005～0.05%(1mL当り50～500μg)に希釈し、点滴静注 通常、1分間に体重1kg当りの量で換算し投与量決定。 効能・効果ごとに投与量が異なる→用法は添付文書参照 [禁]閉塞隅角緑内障、重篤な低血圧、心原性ショック、脳出血 [注]輸液セットに吸着を起こすので、専用の輸液セットを使用する
<b>10・利尿剤</b>		
フロセミド注 20mg/2mL (ラシックス注)	ループ系利尿薬 [適]浮腫、高血圧症、 57 尿路結石排出促進	[用]1回 20mgを静注・筋注(腎不全時1日最高1000mg) [禁]肝性昏睡 [相]配合変化あり(サイレース、チーカプト、ソルダクトンなど)
カンレノ酸カリウム静注用100mg 129	カリウム保持性利尿薬 [適]心性浮腫、肝性浮腫 原発性アルドステロン症	[用]1回100～200mgを1日1～2回、20mL生食等に溶解し緩徐に静注(1日最高600mg) [特]カリウム保持性(高Kに注意) 利尿効果は2～3日遅れて発現 [禁]腎不全、てんかん素因 [注]配合変化する薬剤が多い→単剤で投与する
<b>11・その他の循環器官用薬</b>		
ヒシセオール配合点滴静注200mL (グリセオール注)	浸透圧性利尿薬 [適]頭蓋内浮腫 171	[用]1回 200～500mLを1日1～2回、500mL/2～3時間で点滴静注 [相]配合変化あり(アレビアチン、ソルダクトンなど)
プリンク注 5μg (リプル注、バルクス注)	末梢循環拡張薬 プロスタグランジンE <sub>1</sub> 製剤 971 [適]ASOの潰瘍・疼痛の改善	[用]1日1回5～10μgを緩徐に静注 [禁]重篤な心不全、出血傾向 [副]出血、意識消失、心不全、間質性肺炎、心筋梗塞、血球減少、肝障害 [特]PGE <sub>1</sub> をリボ化することで病巣に高濃度に薬剤が及ぶ。[注]単独ラインで投与
<b>12・呼吸促進剤(薬剤拮抗薬)</b>		
ナロキソン塩酸塩静注0.2mg 912	麻薬拮抗薬 [適]呼吸抑制・覚醒遅延の改善	[用]1回0.2mgを静注、効果不十分な場合2～3分間隔で0.2mgを1～2回追加 [禁]非麻薬性の病因による呼吸抑制 [副]肺水腫 [注]効果が短いので呼吸抑制再発に注意
フルマゼニル注 0.5mg/5mL (アネキセート注)	ベンゾジアゼピン拮抗薬 [適]鎮静の解除、呼吸抑制の改善 1438	[用]初回0.2mgを緩徐に静注、必要に応じ0.1mg追加投与(1分間隔以上) [禁]長時間ベンゾジアゼピン系薬剤を投与されているてんかん患者
<b>13・鎮咳剤</b>		
塩酸エフェドリン注 40mg/1mL 92	交感神経刺激薬 [適]気管支炎・喘息、鼻粘膜充血	[用]1回25～40mgを皮下注(増減) [副]カリウム低下、心拍数増 [禁]ブレドパ、ボスミン(本剤は非選択β刺激薬の為)、心室頻拍、冠攣縮
<b>14・去痰剤</b> 採用なし		
<b>15・気管支拡張剤</b>		
<b>ハイリスク群</b>		
ネオフィリン注PL 250mg/10mL 90	テオフィリン [適]気管支喘息、うっ血性心不全 COPD呼吸困難、狭心症発作予防	[用]1回250mgを1日1～2回、生食等で希釈し5～10分かけて静注点滴 [特]気管支拡張、強心利尿、冠血管拡張作用 [相][注]CYP1A2阻害で併用薬に影響
<b>16・消化性潰瘍用剤</b>		
シメチジン注 200mg/2mL (タガメット注)	H <sub>2</sub> 拮抗・制酸薬 [適]上部消化管出血 56	[用]1回200mgを生食等で20mLに希釈し、1日4回緩徐に静注・点滴 [副]造血器障害、腎障害、肝障害 [相][注]CYP阻害作用強く併用薬に影響
オメプラゾール注用 20mg (オメプラール注)	プロトンポンプ阻害・制酸薬 [適]上部消化管出血 241	[用]1回20mgを生食等に混合して1日2回点滴静注 [副]造血器障害、腎不全 [注]配合変化あり。使用後ルートを生食でフラッシュする [相]CYP2C19,3A4で代謝
<b>17・その他の消化器官用薬</b>		
プリンペラン注 10mg/2mL 57	D <sub>2</sub> 遮断・制吐薬 [適]悪心・嘔吐・食欲不振	[用]1回10mgを1日1～2回筋注・静注 [注]アルカリ性薬との配合禁忌 [禁]褐色細胞腫、消化管出血・閉塞 [副]悪性症候群、錐体外路症状、痙攣
<b>8-2・強心剤(ジギタリス系)</b>		
<b>ハイリスク群</b>		
ジギラノゲン注0.4mg/2mL 95	強心配糖体薬 [適]うっ血性心不全、 心房細動、発作性上室性頻拍	[用]0.2～0.3mg静注・筋注、飽和療法では0.4～0.6mg [注]血中濃度測定、低Kで作用増強 [相]CYP3Aで代謝 [禁]房室・洞房ブロック、閉塞性心筋疾患 [副]ジギタリス中毒(催不整脈、消化器症状、頭痛、眠気)
<b>8-3・強心剤(昇圧剤)、19-1・副腎ホルモン剤(昇圧剤) 交感神経系薬</b>		
塩酸ドパミン注キット600mg/200mL (カタボンHI注)	急性循環不全改善剤 ドパミン 518 [適]急性循環不全(ショック)	[用]1～5μg/kg/分 点滴静注(20μg/kg/分まで) [禁]褐色細胞腫 [副]麻痺性イレウス、末梢虚血 [注]アレビアチンと配合変化
ノルアドリナリン注 1mg/1mL 92	血圧上昇剤 [適]急性低血圧ショック時	[用]皮下注:1回0.1～1mg、点滴静注:1回1mgを250mL生食に溶解→0.5～1mL/分 [注]アレビアチン、インスリン、メイロン、ソルコーテフ/メルコート、ソルダクトンで配合変化
ボスミン注 1mg/1mL 92	アドレナリン 時 急性低血圧ショック時	[用]1回 0.2～1mgを皮下注・筋注 [特]ショック時の昇圧薬として使用 蘇生時:1回0.25mgを超えない量を生食で希釈し緩徐に静注 [禁]眼圧上昇要因、抗精神病薬、動脈硬化症、糖尿病、重症不整脈
エピペン注射液 0.3mg 10570	アドレナリン(キット製剤) [適]アナフィラキシー時	[用]1キットを筋注 [注]処方医はe-ラーニング受講等が必要 [禁]ボスミンと同じ

18・脳下垂体ホルモン剤

ピトレシン注 20単位/1mL 679	抗利尿ホルモン [適]下垂体性尿崩症、 食道静脈瘤出血の緊急処置	[用]①下垂体尿崩症：1回2～10単位を1日2～3回皮下・筋注 ②食道静脈瘤出血：20単位を5%Glu100mLに混和し0.1～0.4単位/分で静注 [特]敗血症、心停止症例での昇圧剤としても使用される。 [禁]冠動脈硬化症 [副]心不全、横紋筋融解症、水中毒
------------------------	--	---

19・2・副腎ホルモン剤(ステロイド)

ケナコルトA筋注 40mg/1mL 815	トリアムシノロンアセトニド [適]各免疫疾患、炎症性疾患 (長時間作用に注意)	[用]①筋注：1回20～80mgを1～2週間隔、②関節腔注：1回2～40mgを2週間隔以上 [禁]感染症のある部位、消化性潰瘍、精神病、白・緑内障、血栓症、急性心筋梗塞 [副]易感染性、糖尿病、消化性潰瘍、精神変調、骨粗鬆症、血栓症
ソル・メルコート注 125mg,500mg (ソル・メドロール注) 125mg=321, 500mg=964	メチルプレドニゾンコハク酸エステル [適]各免疫疾患、炎症性疾患 (大量投与でパルス療法)	[用]①感染性ショック：1回1000mg、②気管支喘息：40～125mgを緩徐に静注・点滴 [禁]全身感染症、腎機能低下、急性心筋梗塞 [相]CYP3A4代謝、蛋白結合高い [副]易感染性、骨粗鬆症、消化管障害、白・緑内障、血栓症、糖尿病、精神変調
ソル・コーテフ注射用 100mg 308	ヒドロコルチゾンコハク酸エステル [適]各免疫疾患、炎症性疾患	[用]1回50～100mgを1日1～4回静注・点滴・筋注(緊急時：1回100～200mg) [禁]全身感染症、急性心筋梗塞、消化性潰瘍、精神病、白・緑内障、血栓症
デキサート注射液 1.65mg/0.5mL (デカドロン、オルガドロン) 56	デキサメタゾンリン酸エステル [適]各免疫疾患、炎症性疾患	[用]①静注筋注：1回0.5～2mL 間隔、②関節腔注：1回0.2～1.25mL [禁]感染症のある部位、消化性潰瘍、精神病、白・緑内障、血栓症、急性心筋梗塞 [副]易感染性、糖尿病、消化性潰瘍、精神変調、骨粗鬆症、血栓症 [特]リン酸エステル型なのでNSAIDs喘息症例にも使いやすい。疼痛緩和でも使われる

20・1・インスリン製剤

ハイリスク群

ヒューマリンR注バイアル 10mL(1000単位)=2910	レギュラーインスリン [適]糖尿病	[用]1回4～20→4～100単位を毎食前に皮下注、糖尿病昏睡には持続静脈内注入
ヒューマログ注ミリオペン 1キット(300単位)=1470	超速効型インスリン [適]糖尿病	[用]1回2～20→4～100単位/dayを毎食直前に皮下注 [特]超速効型インスリンアナログ 食後の血糖値を下げる [注]食後低血糖に注意
ヒューマログミックス50注ミリオペン 1キット(300単位)=1480	混合型インスリン [適]糖尿病	[用]1回2～20→4～80単位/dayを朝・夕直前に皮下注(1日1回・3回も可) [特]超速効型と中間型が1:1の混合インスリンアナログ [注]食後低血糖に注意
ランタス注ソロスター 1キット(300単位)=1936	持効型インスリン [適]糖尿病	[用]1日1回4～20→4～80単位を皮下注(朝or寝る前) [特]持続型インスリンアナログ製剤でほぼ24時間均一→基礎インスリンとして使用

20・2・その他のホルモン剤(抗ホルモン剤を含む)

リュープリンSR注射用キット11.25mg 60958	黄体形成ホルモン放出ホルモン誘導 [用]前立腺癌、閉経前乳癌	[用]12週に1回皮下投与 [副]ほてり、間質性肺炎、性欲減退、肝障害、塞栓症
--------------------------------	-----------------------------------	---

21・ビタミン剤

デルモリチン注 200mg/2mL (パントシン注) 56	パンテチン製剤 [適]パントテン酸欠乏or代謝障害 (脂質異常、術後腸管麻痺、湿疹)	[用]1日20～100mgを1～2回に分けて皮下注・筋注・静注
フォリアミン注射液 15mg/1mL 94	葉酸製剤 [適]葉酸欠乏症・貧血	[用]1回15mgを1日1回皮下注・筋注
メチコパール注 500μg/1mL 108	ビタミンB <sub>12</sub> 製剤 [適]末梢性神経障害・貧血	[用]1日1回500μgを週3回筋注・静注→維持量：1～3ヶ月に1回500μg

22・混合ビタミン剤

シーパラ注 2mL 56	VB <sub>1</sub> ,B <sub>2</sub> ,B <sub>3</sub> ,B <sub>5</sub> ,B <sub>6</sub> ,C製剤 [適]上記ビタミンの補充	[用]1日2～10mLを1～3回に分割して皮下・筋注・静注 [禁]血友病患者 [相]レボドパの作用減弱、尿検査で尿糖の検出を妨害 [特]VB <sub>1</sub> を10mg、VB <sub>2</sub> を1mg、VB <sub>3</sub> を20mg、VB <sub>5</sub> を2mg、VB <sub>6</sub> を2mg、VCを50mg配合
-----------------	--	--

23・カルシウム剤

大塚塩カル注2% 20mL 92	カルシウム剤 [適]低Ca血症、Pb・Mg中毒	[用]20～50mLを1日1回静脈内に緩徐注射 [特]高K時の心保護にも使用される Ca=7.2mEq/20mL [禁]ジゴキシン投与患者、腎結石、重篤腎不全、高Ca、[副]結石症、食欲不振
代替品臨時採用：カルチコール注射液8.5%/5mL Ca 1.95mEq/5mL 薬価60円		

24・無機質製剤

フェジン鉄静注40mg 60	鉄剤 [適]鉄欠乏性貧血	[用]1日40～120mgを2分以上かけて静注 [禁]重篤な肝障害、鉄欠乏でない患者 [副]ショック
ミネリック-5配合点滴静注シリンジ (ミネラリン) 182	輸液用微量元素 [適]微量元素の補充	[用]1日2mLをTPNに添加 [特]Fe,Mn,Zn,Cu,Iを含む微量元素製剤 [禁]胆道閉塞

25・糖類剤

50%ブドウ糖液20mL (大塚糖液50%) 97	糖液	[用]TPN輸液に混合し点滴静注(0.5g/kg/時以下の速度で) [副]血清カリウム低下
大塚糖液5% (プラボトル)100mL=123 (バッグ)500mL=174	糖液	[用]脱水時の水分補給：5%液を500～1000mL静注 [禁]低張性脱水症

## 26・たんぱく質アミノ酸製剤 (PPN・TPN)

ツインパール輸液 500mL (アミノフィード)	糖・電解質アミノ酸輸液	[用]1回500mLを末梢静脈点滴(500mL/2h)(1日最高2500mL) [禁]肝性昏睡、重篤腎障害、高K・P・Mg・乳酸・窒素、甲状腺低下、乏尿、うつ血性心不全
396		
キドミン輸液 200mL	腎性アミノ酸輸液	[用]PPN:1日1回200～400mL、TPN:1日400～800mLを緩徐に点滴 [禁]肝性昏睡、高アンモニア血症 [注]利用効率を高めるには十分な糖質補給が必要
453		
アミゼットB輸液 200mL	総合アミノ酸製剤	[用]PPN:1回200mL、TPN:1日400mLを緩徐に点滴 [特]BCAA豊富・20gアミノ酸 [禁]肝性昏睡、重篤な腎障害・高窒素 [注]利用効率を高めるには十分な糖質補給が必要
376		
ヒカレバン輸液 200mL (アミノレバン)	肝不全用アミノ酸製剤 (慢性肝障害時の肝性脳症)	[用]1回500～1000mLを点滴静注(180～300分/500mLの速度で) [禁]重篤な腎障害、[副]低血糖、高アンモニア血症 [特]肝性脳症改善のためBCAAを増。[注]利用効率を高めるには十分な糖質補給が必要
329		
フルカリック1号輸液 903mL	TPN輸液	[用]各1～2キットを24時間かけて中心静脈に点滴(TPN) [禁]血友病、高Na・K・Cl・P・Ca・Mg・窒素・乳酸、肝性昏睡、重篤な腎障害
902		
フルカリック2号輸液 1003mL=956、1504.5mL=1253	TPN輸液	[注]アシドーシス→十分なVB1補充を。VKを含むのでワルファリンの作用が減弱
ハイカリックRF輸液 500mL	TPN輸液基本液 (腎不全用糖質・電解質のみ)	[用]腎不全用糖質・電解質として、アミノ酸製剤+ビタミンB1を添加して投与。 [禁]高Na・Cl・Mg・Ca・乳酸、肝性昏睡 [注]アシドーシス予防→VB1添加を
420		

## 48・その他の滋養強壮薬 (脂肪乳剤)

イントラリボス輸液20% 100mL	脂肪乳剤	[用]1日100～250mLを点滴静注(250mL/3h以上で)(最高脂肪として2g/kg) [禁]血栓症、重篤な肝障害・血液障害 [副]静脈塞栓、ワルファリンの効果を減弱
629		

## 27・血液代用剤(輸液・電解質)

ソルデム1輸液 (ソリタ1号)	1号開始液	[特]1L中にNa <sup>+</sup> =90mEq含有するため、細胞内外に水分を補充できる開始液。 K <sup>+</sup> は含まない。ブドウ糖濃度2.6%。
200mL=124、500mL=157		
ソルデム3A輸液 (ソリタ3号)	3号維持液	[特]維持液。1LにNa <sup>+</sup> 、Cl <sup>-</sup> =35mEq含有し、K <sup>+</sup> =20mEq含有されているので 腎機能低下例は注意する。ブドウ糖濃度=2.7%。
200mL=157、500mL=157		
ソルデム3PG輸液 500mL (EL3号)	10%糖・P付加3号輸液	[禁]高乳酸・窒素・K・P、低Ca [特]Pを含み、ブドウ糖濃度の高い製剤 1LにNa <sup>+</sup> =40、K <sup>+</sup> =35、Cl <sup>-</sup> =40mEq、P=8mmol、ブドウ糖濃度=4.0% [注]腎障害
188		
ラクテックG輸液 500mL	乳酸リンゲル液 (キシリトール添加)	[用]1回500～1000mL点滴(10mL/kg/hの速度) [禁]高乳酸血症 [特]糖質(キシリトール)が添加されており、500mLで100kcal
143		
生食 20mL (大塚生食注)	生理食塩水	
61		
生食 100mL (大塚生食注)	生理食塩水	
128		
大塚生食 細口開栓用・点滴用 500mL=179	生理食塩水	
大塚食塩注 10% 20mL	10%NaCl	[用][注]直接静注しない→必ず希釈して使用
95	[適]Naの補整	
アスパラギン酸カルシウム注 10mEq キット	アスパラギン酸K	[用]輸液等で希釈(濃度40mEq/L以下、速度20mEq/h以下で) [注]必ず希釈して使用する。絶対に直接静注しない!
ハイリスク薬 175	[適]Kの補整	

## 28・止血剤

アドナ静注用 50mg/10mL	血管強化薬	[用]1回25～100mLを静注・点滴 [特]血管増強薬であり、血小板・凝固系には影響を与えない
58	[適]止血	
トランサミン注10% 1g/10mL	抗プラスミン薬	[用]1日量250～500mgを1日1～2回に分けて静注・筋注、必要に応じ500～2500mg [適]止血、蕁麻疹、口内炎
118		
ケイツーN静注 10mg/2mL	ビタミンK	[用]1回10～20mg(最大40mg) [注]遮光保存、他剤との配合は避ける [特]止血ビタミン。ワルファリンの効果を拮抗して作用する
77	[適]ビタミンK欠乏、止血	

## 29・血液凝固阻止剤

ヘパリンNaロック50単位/5mL	ヘパリン製剤	[禁]出血、重篤な肝・腎疾患
98	[適]静脈内留置カート内血液凝固防	
ヘパリンNa注N5000単位/5mL	ヘパリン製剤	[用]①皮下注:1回5千単位を4時間毎、②間欠静注:1回5千～1万単位4～8時間毎 ③点滴静注:1～3万単位を生食等で1000mLに希釈、WBAPTT確認 [禁]出血、重篤な肝・腎疾患 [相]抗血栓薬、テロサイクリン、ジゴキシンと併用で作用↓
177	[適]DIC、血栓塞栓症	

30・肝臓疾患用剤

アミファーゲンP注 20mL 56	肝臓疾患・アレルギー薬 グリチルリチン	[用]①皮膚炎:5~20mL、②肝疾患:40~60mLを1日1回静注 [禁]アルドステロン症、ミオパチー、低K血症 [副]偽アルドステロン症、電解質
----------------------	------------------------	---

31・解毒剤

メイロン注7% 1.4g/20mL 94	炭酸水素ナトリウム [適]アシドーシス、めまい	[用]①アシドーシス→添付文書参照 ②薬物中毒・めまい:1回1~5g静注 [注]アルカリ性であり配合変化起こしやすい。TPN製剤、Ca含有製剤とは混合しない
デトキソール注射液2g/20mL 443	チオ硫酸ナトリウム [適]シアン・ヒ素中毒	[用]1日1~2g静注(シアン中毒には1回12.5~25g)。 [注]ヒドロキソコバラミンと同時投与不可。[特]食道内視鏡のヨード染色のヨード分解で使

32・酵素製剤

採用無し

33・他に分類されない代謝性医薬品

ミルセラ注シリンジ 25μg=6142、50μg=10917	エポエチンβペゴル製剤 [適]腎性貧血	[用]初回:50μg(血液透析)、25μg(その他)を2週に1回。維持:25~250μgを4週に1回 [副]心筋・肺・脳梗塞(血液粘張度増)、肝障害、血圧上昇、脳出血 [特]長時間持続型の赤血球増強因子製剤。[注]鉄欠乏時は鉄剤を併用する。
ネスブ注射液30μg/0.5mLブラシリン 6349	ダルベポエチンα製剤 [適]腎性貧血	[用]初回:30μgを2週に1回、維持:2週に1回or倍量を4週に1回、皮下注or静注 [副]心筋・肺・脳梗塞(血液粘張度増)、肝障害、血圧上昇 [特]赤血球増強因子製剤
ガベキサートメシル酸 100mg (注射用エフオーワイ) 143	タンパク分解酵素阻害剤 [適]急性膵炎、DIC	[用]①急性膵炎:1回100mgを全量500mLにし、8mL/分以内で点滴静注 ②:DIC:1日20~39mg/kgの範囲内で24時間かけて静脈持続投与 [副]注射部位壊死、高K [特]トリプシンやトロンピン等の蛋白分解酵素を阻害
ボンビバ静注1mgシリンジ 4828	ビスフォスフォネート製剤 [適]骨粗鬆症	[用]1カ月に1回、緩徐に静脈内投与。[禁]低Ca患者 [副]Ca・Mg低下、顎骨壊死、非定型骨折、背部・筋肉・関節痛、胃腸障害、発疹 [特]骨密度上昇効果あり。内服で起床時坐位が取れない患者でも使用可。

34・抗ヒスタミン剤

ポララミン注 5mg/1mL 在庫なし 58	抗ヒスタミン薬 [適]蕁麻疹、アレルギー	[用]1日1回 5mg [禁]緑内障、前立腺肥大(抗コリン作用のため)
---------------------------	-------------------------	--

35・主としてグラム陽性菌に作用する抗生剤 (バンコマイシン、リンコマイシン)

バンコマイシン点滴静注 0.5g 823	抗MRSA薬 [適]MRSA	[用]1回0.5gを12時間毎 or 1回1gを24時間毎に1h以上かけ点滴(高齢者) [注]血中濃度確認 [副]腎・肝障害、造血器障害、聴覚障害、消化器症状
クリンダマイシンリン酸エステル注300mg (ダラシンス注) 156	リンコマイシン系	[用]1日600~1200mgを2~4回に分けて筋注・点滴(最大2400mg) [禁]エリスロマイシン併用 [副]造血器障害、肝障害、腎障害

36・主としてグラム陰性菌に作用する抗生剤 (アミノグリコシド系)

アミカシン硫酸塩注 100mg (ビクリン注) 95	アミノグリコシド系	[用]1日100~200mgを1日1~2回筋注・点滴 [副]腎障害、聴力障害 [相]ペニシリン・セフェム系との混合で作用減 血中濃度測定
----------------------------------	-----------	---

37・主としてグラム陽性・陰性菌に作用する抗生剤 (βラクタム系、カルバペネム系、ホスホマイシン系)

ピペラシリンNa注射用 2g (ペントシリン注) 224	広範囲ペニシリン	[用]1日2~4gを1日2~4回で静注・筋注・点滴(最大8g) [副]腎障害、造血器障害、肝障害 [特]緑膿菌にも有効域があるペニシリン
スルバシリン静注 1.5g (ユナシンス注) 294	β-ラクタマーゼ阻害配合ペニシリン	[用]①肺炎:1日6g、②膀胱炎:1日3gを1日2回静注点滴 [副]腎障害、造血器障害、肝障害
セファゾリンナトリウム注射用1g (セファメジンα注) 109	第1世代セフェム系	[用]1日1gを1日2回緩徐に静注・筋注・点滴(1日5gまで) [副]肝障害、腎不全、間質性肺炎 [相]利尿薬(腎障害増強)
セフトリアキソンNa静注1g (ロセフィン静注) 274	第3世代セフェム系	[用]1日1~2gを1~2回に分けて静注・点滴(最大1日4g) [副]肝障害、結石、造血器障害 [特]半減期が長く1日1回の投与も可能。腎排泄50%で腎機能の影響が少ない。
ワイスタール配合静注用 1g (スルペラゾン静注) 304	第3世代セフェム系 (β-ラクタマーゼ配合セフォペラゾン)	[用]1日1~2gを2回に分けて静注(1日最大4g) [副]肝障害、造血器障害 [相]利尿薬(腎障害増強) [特]主薬のセフォペラゾンは腎排泄25%で腎への影響が少なく、胆汁移行性良好
メロペネム点滴静注用 0.25g (メロベン点滴静注) 425	カルバペネム系	[用]1日0.5g~1gを2~3回に分けて30分以上かけて点滴(1日最大2g) [禁]デパケン→効果減弱 [副]急性腎不全、肝障害、造血器障害、下痢
ホスホマイシンNa静注用 2g (ホスミシンス注) 847	ホスホマイシン系	[用]1日2~4gを2回に分けて点滴・静注 [副]造血器障害、肝障害、消化器症状 [注]14.5mEq/gのNa <sup>+</sup> を含有→心・腎不全、高血圧症の患者には注意

<b>38・主としてグラム陽性・陰性菌、リケッチェア、クラミジアに作用する抗生剤（ミノマイシン系）</b>		
ミノサイクリン点滴静注用 100mg (ミノマイシン点滴静注用) 151	テトラサイクリン系	[用]初回100～200mg→12～24時間毎に100mgを30分～2時間かけて点滴 [副]造血器障害、肝・腎障害、消化器症状
<b>39・合成抗菌剤（ニューキノロン系）</b>		
パズクロス注 300mgキット 1168	ニューキノロン系	[用]1日600～1000mgを2回に分けて点滴 [注]配合変化が多いので基本は単独投与 [副]肝障害、造血器障害、急性腎不全、低血糖 [相]CYP1A2阻害あり
<b>40・主としてカビに作用するもの</b> 採用無し		
<b>41・抗ウイルス剤</b>		
アシクロビル注 250mg (点滴静注用ゾピラックス) 535	抗ウイルス薬 [適]ヘルペス、带状疱疹	[用]1回5mg/kgを1日3回7日間静注(8時間ごとに1h以上かけて)(1日最高10mg/kg) [副]造血器障害、急性腎不全、精神症状、肝障害
ラビアクタ点滴静注用300mg/60m 6216	抗インフルエンザ薬 [適]A,B型インフルエンザ	[用]1回300mgを15分以上かけて単回点滴静注。[注]腎機能、重症度に合わせ増減。 [副]発疹・ショック、胃腸障害、肝障害、白血球減少
<b>42・ワクチン類</b>		
インフルエンザHAワクチン 1mL/1V 薬価なし	インフルエンザワクチン	[用]0.5mLを1回(or 1～4週間後に2回目)を皮下注 [禁]明らかな発熱、重篤な急性疾患 [副]アナフィラキシー、痙攣、肝障害
ヘプタバックス-II 10μg/0.5mL 2382	B型肝炎ワクチン	[用]①B型肝炎予防:0.5mLずつ4週間隔で2回+20～24週間後0.5mL皮下注・筋注 ②汚染事故後感染予防:0.5mLを皮下注・筋注+0.5mLずつ1ヵ月後,3～6ヵ月後
ニューモバックスNP 575μg/0.5mL 4623	肺炎球菌ワクチン	[用]1回0.5mLを筋注・皮下注 [禁]インフルエンザワクチンと同じ 放射線・免疫療法中 [副]アナフィラキシー、血小板減少、頭痛
破トキ 0.5mL 419	破傷風トキソイド	[用]破傷風予防・初回免疫:1回0.5mLを2回(3～8週間隔)、筋注・皮下注 [禁]インフルエンザワクチンと同じ [副]アナフィラキシー
<b>43・その他の生物学的製剤</b>		
アルブミン-25%静注50mL 4342	アルブミン血液製剤 <特定生物>	[用]1回20～50mLを緩徐に静注・点滴(1mL/分以下の速度で) 投与必要量(mL)=Alb期待上昇濃度(g/dL)×体重(kg)×4
ヘブスブリンIH静注1000単位 35322	抗HBs抗体 <特定生物>	[用]血液汚染事故後B肝発症予防(48時間or7日以内):1回1000～2000単位 生食などに溶解し緩徐に静注 [副]過敏症、腎障害
精製ツベルクリン一般診断用 1019	結核診断薬	[用]0.5μg相当量/mL溶液を作り、0.1mLを皮下注、48時間後に判定 [禁]副腎皮質ホルモンと併用
<b>44・溶解剤</b>		
注射用水 20mL 61	注射用水	
注射用水バッグ 1L 216	注射用水	
注射用水 細口開栓用 500mL 163	注射用水	
<b>45・X線造影剤</b>		
オイパロミン300注シリンジ 100mL (オムニパーク) 3921	非イオン性尿路・血管造影	[禁]ヨード過敏症、重篤な甲状腺疾患・腎不全 [注]メトグルコ併用(腎機能悪化→乳酸アシドーシス)
<b>46・機能検査用試薬</b>		
インジゴカルミン注 20mg/5mL 241	腎機能検査用薬	[用]20～40mgを静注 [特]上部消化管検査(内視鏡)の色素染色にも使用される
<b>47-1・あへんアルカロイド系麻薬(麻)</b>		
モルヒネ塩酸塩注 10mg/1mL 299	オピオイド(モルヒネ) [適]癌性、慢性疼痛	[用]①1回5～10mgを皮下注、②1回50～200mgを持続点滴 [禁]重篤な呼吸抑制、喘息発作、重篤な肝障害、痙攣 [副]呼吸抑制
<b>47-2・あへんアルカロイド系非麻薬</b>		
ソセゴン注 15mg (=ペンタジン) 62	オピオイド(ペンタゾシン) [適]術後疼痛、麻酔前投薬	[用]①鎮痛:1回15mgを筋注・皮下注、必要に応じ3～4時間ごとに反復 ②麻酔前投薬:30～60mgを筋注、皮下注、静注 [禁]頭部障害、重篤な呼吸抑制 [副]呼吸抑制、依存性、嘔吐、傾眠



<b>1・解熱鎮痛消炎剤</b>		
アセトアミノフェン坐剤小児用 200mg (アンヒバ坐剤) 19.9	解熱鎮痛薬 アセトアミノフェン [適]解熱・鎮痛	[用]直腸内に投与(投与間隔は4～6時間) [禁]肝障害・腎障害 [副]喘息発作・肝障害 [特]マイルドで安全性は高い
ボルタレンサポ 25mg 42.3	NSAIDs [適]鎮痛・消炎・解熱	[用]1回25～50mgを1日1～2回直腸に挿入 [禁]消化管潰瘍、腎・肝障害 [副]消化管出血、肝・腎・造血器障害 [特]鎮痛効果は大きい
ノルスパンテープ 5mg 1567.6	非麻薬性オピオイド部分作動薬 ブプレノルフィン [適]慢性疼痛(変形性関節症・腰痛)	[用]7日ごとに貼り替え。初回5mg、最大20mg。※処方医e-ラーニング受講要 [禁]重篤な呼吸抑制状態 [相]CYP3A4代謝 [注]癌性疼痛適応なし [副]呼吸抑制、悪心・嘔吐、便秘、傾眠、頭痛・めまい、依存症
<b>2・局所麻酔剤</b>		
キシロカインゼリー2% 30mL 1本=219	粘滑・表面麻酔剤 [適]表面麻酔	[用]尿道麻酔(男子200～300、女子60～100mg)、気管内挿管には適量 経鼻内視鏡検査前処置で使用
キシロカインボンブスプレー8%(80g) 1g=22.2	表面麻酔剤 [適]表面麻酔	[用]8～40mg(1～5回の噴霧)を使用
<b>3・眼科用剤</b>		
アゾテシン点眼0.02% 5mL (AZ点眼) 1本=87.2	抗炎症目薬 アズレン [適]結膜炎、角膜炎	[用]1日3～5回点眼 [特]軽い炎症に。
チモロール点眼液0.25% 5mL (チモブール点眼液) 1本=291	緑内障治療薬 β遮断 [適]緑内障	[用]1日2回点眼 [特]眼水産生抑制 [禁]気管支喘息、重篤なCOPD、重篤な心疾患
カリーユニ点眼液 5mL (カタリンK) 1本=63.7	白内障進行抑制薬 [適]白内障	[用]1日3～5回点眼
ヒアルロン酸Na点眼0.1% 5mL (ヒアレイン点眼) 1本=152.2	角膜保護薬 [適]角結膜上皮障害、ドライアイ	[用]1日5～6回点眼
タリフロン点眼液0.3% 5mL (タリビット点眼液) 1本=228	ニューキノロン系抗生剤 [適]結膜炎、角膜炎(細菌性)	[用]1日3回点眼
プラノプロフェン点眼液0.1% 5mL (ニフラン点眼液) 1本=98.5	非ステロイド性抗炎症薬 [適]結膜炎、角膜炎(非細菌性)	[用]1日4回点眼
ベルベゾロン点眼液0.1% 5mL (リンデロン液(眼・鼻)) 1本=109	ステロイド性抗炎症薬 [適]結膜炎、角膜炎、アレルギー疾患	[用]眼科:1日3～4回点眼、耳鼻科用:1日1～数回点眼・点鼻 [禁]角膜潰瘍・ウイルス/真菌性疾患、化膿性 [副]感染症、眼圧上昇
ベノキシール点眼液0.4% 10mL 消待 1本=134	局所麻酔成分薬 [適]眼科における表面麻酔	[用]1～4滴を点眼
エコリシン眼軟膏 3.5g 1本=160.3	抗生剤眼軟膏 [適]結膜炎、角膜炎(細菌性)	[用]1日数回点眼 [特]エリスロマイシン+コリスチンの合剤
<b>4・耳鼻科用剤</b>		
タリビット耳科用液0.3% 5mL 1本=546	抗生剤点耳液 [適]外耳炎、中耳炎(細菌性)	[用]1回6～10滴点耳し約10分間の耳浴を1日2回
プリピナ液0.05% 1mL=4.1	点鼻用局所血管収縮剤 [適]上気道の充血・うっ血、鼻閉 上気道粘膜の局麻剤の効力延長	[用]鼻腔内:1回2～4滴、咽喉頭:1回1～2mL。 [注]過度の使用による薬剤性鼻炎に注意
<b>5・血管拡張剤</b>		
硝酸イソソルビドテープ40mg (フランドルテープ) 33.2	狭心症血管拡張テープ [適]狭心症、虚血性心疾患	[用]1日1回1枚 or 2日で1枚を貼付 [禁]重篤な低血圧、心原性ショック、脳出血、閉塞隅角緑内障
<b>6・去痰剤</b>		
ブロムヘキシン塩酸塩吸入液0.2% 45mL=351	去痰吸入薬 [適]去痰	[用]生食で約2.5倍に希釈しネブライザーで吸入。1回4mgを1日3回(増減) [注]アレバールとの混合で白濁する
<b>7・気管支拡張剤</b>		
アレバール吸入用溶解液 0.125% 100mL=520	吸入用呼吸器薬の溶解剤	[用]1～5mLに呼吸器用薬を用時混合し噴霧吸入 [注]ビソルボンと混濁 [禁]人工呼吸器の呼吸回路吸気側にフィルタを装着し 超音波式ネブライザーを使用中の場合
ベネトリン吸入液0.5% 5mg/mL 30mL=678	β <sub>2</sub> 刺激・気管支拡張薬 [適]気管支喘息、COPD	[用]1回1.5～2.5mgを深呼吸しながら吸入
メブチンエアー10μg 844.5	短時間β作用・気管支拡張 [適]気管支喘息の発作時	[用]発作時に1～2吸入、1日4回まで [副]カリウム低下、心拍数増 [特]短時間作用型β刺激薬。(1瓶で100回使用可)
ツロブテロールテープ 1mg,2mg (ホクナリンテープ) 1mg=21.9、2mg=32.1	β <sub>2</sub> 刺激・気管支拡張薬 [適]気管支喘息、COPD	[用]1日1回2mg貼付 [副]重篤なカリウム低下、アナフィラキシー

<b>8・含嗽剤</b>		
アズレンうがい薬 (10mL) 1本=402	抗炎症うがい薬 [適]咽頭・扁桃・口内炎、口腔創傷	[用]5～7滴を約100mLの水に溶解し、1日数回うがい
<b>9・その他の呼吸器官用薬</b>		
スピリーバ2.5μgレスピマット(60吸入) 6481.2	抗コリン気管支収縮抑制剤 [適]COPD	[用]1回2吸入を1日1回 [禁]緑内障、前立腺肥大 [副]心不全、心房細動、イレウス [特]抗コリン型は肺気腫に有効
パルミコート吸入液0.25mg 256.7	ステロイド吸入薬(吸入液) [適]気管支喘息	[用]1日1mgを1日1～2回(最大2mg)。 [禁]呼吸器感染症 [相]CYP3A代謝
キューパール100エアゾール 2858	ステロイド吸入薬(噴霧型) [適]気管支喘息	[用]1回100μgを1日2回。[特]噴霧型ステロイド吸入薬。 [禁]呼吸器感染症、[副]肝障害、高血圧 (1瓶で100回使用可)
<b>10・下痢、浣腸剤</b>		
ケンエーG浣腸液50% 60mL 107.7	グリセリン浣腸 [適]便秘	[用]1回10～150mLを直腸内注入 [禁]腸管内出血、腹腔内炎症
新レシカルボン坐剤 50.5	炭酸ガス型便秘用坐薬 [適]便秘	[用]1～2個をできるだけ肛門内に深く挿入 [注]冷所保存 [特]炭酸ガスで直腸を刺激
<b>11・その他の消化器官用薬</b>		
サリベートエアゾール (50g) 569.9	人工唾液 [適]口腔乾燥(シェーグレン症候群など)	[用]1回1～2秒間、1日4～5回口腔内に噴霧 [特]即効的に口腔乾燥を解消できるが、持続性は低い
デスパコーワ口腔用クリーム 5g 1本=157.5	口内炎・歯周炎治療剤 [適]口内炎、歯周炎	[用]1日3～4回口腔内の炎症部分に塗る [禁]口腔内に結核・ウイルス性・化膿性の感染症
<b>12・生殖器官用剤(性病予防剤を含む)</b>		
ハイセチン膣錠 100mg (クロマイ膣錠) 55.8	抗生剤膣錠(クロラムフェニコール) [適]細菌性膣炎	[用]1日1回1個
<b>13・痔疾用剤</b>		
ボラザG坐剤 31	痔核局所治療剤 [適]内痔核	[用]1回1個を1日2回肛門内に挿入(軟膏は塗布も可能) [特]非ステロイド性の痔疾患治療薬
ヘモポリゾン軟膏(2g) (強カポステリザン軟膏) 1本=29.6	痔核局所治療剤 大腸菌死菌+ヒドロコルチゾン [適]内痔核・裂肛、肛門周囲皮膚炎	[用]1日1～3回適量を塗布or注入 [禁]局所に感染症がある場合 [副]連用により緑内障・後囊白内障、皮膚刺激感、感染症、副腎抑制
<b>14・外皮用殺菌消毒剤</b>		
消毒用イソプロB液70% 5L=2200	アルコール性消毒薬	[用]手指・皮膚の消毒、医療用具の消毒 [禁]損傷皮膚、粘膜への使用 [注]エタノールに比べると吸入毒性強い
<b>15・化膿性疾患用剤</b>		
ゲンタマイシン硫酸塩軟膏0.1% (10g) (ゲンタシン軟膏) 1本=71	抗生剤軟膏(アミノグリコシド) [適]表在性皮膚感染症、膿皮症、 びらん・潰瘍の二次感染	[用]1日1～数回
バラマイシン軟膏 250g=1675	化膿性皮膚疾患薬 [適]皮膚感染症	[用]1日1～数回塗布 [副]長期使用で腎障害、難聴 [特]バシトラシンとフラジオマイシンの合剤で抗菌スペクトルは広い
ゲーベンクリーム 100g=1260	外用感染治療剤 [適]びらん・潰瘍の二次感染、褥瘡	[用]1日1回塗布 [特]サルファ剤で抗菌作用 褥瘡・皮膚潰瘍に使用 [禁]軽症熱傷 [副]全身に吸収される→汎血球減少、間質性腎炎
ソフラチュール貼付剤10cm 55.1	抗生剤貼付剤 [適]びらん・潰瘍の二次感染、褥瘡	[用]1～数枚を患部に当てその上から無菌ガーゼで覆う。 [副]腎障害、難聴 [特]硫酸フラジオマイシン貼付剤
硫酸ポリミキシンB散50万単位 343.5	ポリスチン系薬剤 [適]創傷、膀胱炎、結膜炎	[用]1本を5～500mLに溶解し、注入・散布・膀胱内洗浄 [特]他剤無効の耐性菌に使用。[注]適応は局所のみ(内服・注射×) [副]難聴、呼吸麻痺、腎障害
<b>17・寄生性皮膚疾患用剤(水虫薬)</b>		
ビホナゾールクリーム(10g) (マイコスポールクリーム) 1本=102	抗真菌剤(アゾール系) [適]白癬(水虫)、カンジダ	[用]1日1回塗布
テルビナフィン塩酸塩外用液1%(10g) (ラミシール外用液) 1本=140	抗真菌剤(アリルアミン系) [適]白癬(水虫)、カンジダ	[用]1日1回塗布
テルビナフィン塩酸塩クリーム(10g) (ラミシールクリーム) 1本=140	抗真菌剤(アリルアミン系) [適]白癬(水虫)、カンジダ	

## 16・鎮痛、鎮痒、収斂、消炎剤

アズノール軟膏0.033% (20g) 1本=54.6	炎症性皮膚疾患治療剤 [適]湿疹、びらん・潰瘍	[用]1日数回 [特]褥瘡、皮膚潰瘍治療薬。口内に塗布する場合もある。
アルキサ軟膏 (20g) 1本=162	びらん・潰瘍組織修復剤 [適]外傷・熱傷によるびらん・潰瘍	[用]1日1～3回塗布 [相]テトラサイクリン系外用薬、ヨウ素系消毒薬、マーキュロム液との併用注意
亜鉛華軟膏 (500g) 1g=2.55	収斂・消炎・保護剤 [適]消炎、びらん・潰瘍治療	[用]1日1～数回 [禁]重度または広範囲の熱傷
オイラックスクリーム (10g) 1本=39.1	鎮痒剤 [適]湿疹、蕁麻疹、皮膚そう痒症	[用]1日数回 皮膚掻痒症に使用 疥癬にも有効 [注]熱感が生じることがある [特]成分:クロタミン
オイラックスHクリーム (5g) 1本=66.5	鎮痒剤+ステロイド(Mild)	[用]1日1～数回 [禁]皮膚感染、2度以上の熱傷・凍傷
リンデロンV軟膏 (5g) 1本=128.5	ステロイド(Strong)軟膏	[用]1日1～数回 [特]Strongステロイドの単剤(抗生剤非配合)
デキサンVG軟膏 (5g) (リンデロンVG軟膏) 1本=136	ステロイド(Strong)+抗生剤	[用]1日1～数回 [特]抗生剤はゲンタマイシン配合 [禁]皮膚感染症(非感受性菌)、2度以上の熱傷・凍傷
デルモゾールGローション (10mL) (リンデロンVGローション) 1本=272	ステロイド(Strong)+抗生剤	
スチブロン軟膏 (5g) (マイザー軟膏) 1本=34	ステロイド軟膏(Very Strong)	[用]1日1～数回
クロベタゾールプロピオン酸エステル軟膏(5g) (デルモベート軟膏) 1本=46.5	ステロイド軟膏(Strongest)	[用]1日1～数回 [注]最強ランクのステロイド。短期間使用、症状改善→ランクを落とす
MS冷シップ (1枚20g) 5枚=88	冷感シップ薬 [適]鎮痛・消炎の外用	[用]1日1～2回
フェルナビオンテープ70 1枚=13.7	温感シップ薬(鎮痛剤配合) [適]鎮痛・消炎の外用	[用]1日2回貼付 [特]NSAIDs成分配合 [禁]アスピリン喘息 [副]喘息発作
ヤクバンテープ40 (10cm×14cm) 1枚=17.6	消炎鎮痛湿布薬 [適]鎮痛・消炎の外用	[用]1日2回貼付 [禁]アスピリン喘息 [副]喘息発作
インドメタンゲル(50g) (インデバン軟膏) 1本=120	消炎鎮痛ゲル軟膏 [適]鎮痛・消炎の外用	[用]症状により、適量を1日数回患部に塗擦 [禁]アスピリン喘息 [副]喘息発作
スチックゼノールA(40g) 1本=189.6	外用鎮痛・消炎固形軟膏 [適]鎮痛・消炎の外用	[用]1日1～数回患部に塗擦

## 18・皮膚軟化剤(腐食剤を含む)

ウレパールクリーム10% (20g) 1本=122	角化症治療剤(10%尿素) [適]アトピー皮膚、老人性乾皮症	[用]1日1～数回 角化症、乾癬にも使用 [注]傷があると刺激感出ることがある
------------------------------	-----------------------------------	--

## 19・その他の外皮用薬

スクロードパスタ (100g) (ユーパスタ) 1g=11	褥瘡・皮膚潰瘍治療剤 ポピドンヨード+白糖 [適]褥瘡、皮膚潰瘍	[用]潰瘍面を清拭後1日1～2回ガーゼに伸ばして貼付 [注]ポピドンヨード含有(ヨウ素過敏症は×)
-------------------------------------	--	--

## 20・止血剤

トロンピン液1万単位 ソフトボトル 1293.8	止血剤(外用) [適]止血	[用]①出血局所:本剤をそのまま噴霧・灌注・撒布する。 ②上部消化管出血:適当な緩衝剤(牛乳など可)で希釈(200～400単位/mL)たものを経口投与。 [注]血管内には注入しない!→血液凝固が起こる [禁]トランサミン併用
-----------------------------	------------------	--

## 21・抗ウイルス剤

ビダラビン軟膏3% (5g) (アラセナ軟膏) 1本=534.5	抗ウイルス薬 [適]帯状疱疹、単純疱疹	[用]1日1～4回患部に塗布(単純疱疹・帯状疱疹に)
--	------------------------	----------------------------

## 22・軟膏基剤

白色ワセリン 1g=2.34		
-------------------	--	--

## 23・あへんアルカロイド系麻薬 (麻)

デュロテップMTパッチ 2.1mg,4.2mg 2.1mg=1761.5、4.2mg=3161.4	オピオイド麻薬貼付剤 フェンタニル [適]癌性疼痛、慢性疼痛	[用]3日毎(約72時間)に貼り替え。モルヒネ製剤からの切り替えで使用 [副]呼吸抑制、痙攣、便秘、嘔気、傾眠 [相]CYP3A4で代謝 [注]温度が上昇すると吸収量が増加する
アンベック坐剤 10mg 314.3	オピオイド麻薬坐剤 モルヒネ [適]癌性疼痛	[用]1日20～120mgを2～4回に分割(初回は10mgが望ましい) [禁]重篤な呼吸抑制、気管支喘息、肝障害 [副]便秘、嘔気、傾眠 [相]CYP3A4で代謝